

第58期 決算データ分析資料

令和2年(2020)12月期



◀プラネット東北 増築
令和2年5月7日 稼働



プラネット南関東 建替え
令和2年8月17日 稼働 ▶

トラスコ中山株式会社

令和3年(2021)2月12日発表

経営企画部 部長 兼 経理部 部長 中山 達也
経営企画・広報IR課 課長 下津 敦嗣
経営企画・広報IR課 平野 みのり

〒105-0004
東京都港区新橋四丁目28番1号
トラスコ フィオリートビル10F
TEL: 03-3433-9840 FAX: 03-3433-9881
E-mail: info@trusco.co.jp

一 資料目次 一

第58期 令和2年(2020)12月期

■トラスコ中山について

- P3 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について
- P4 【連結】会社概要

A■全社経営実績

- P5 ①【連結】経営成績
- P6 ②【親単体】経営成績
- P7 ③【連結】令和2年(2020)12月期
全社月次売上高／1日当たり売上高

B■販売実績

- P8 ①【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益
- P9 ②【連結】販売セグメント別月次売上高推移表
- P10 ③【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・
販売ルート別実績
- P11 ④【連結】eビジネスルート売上高・オレンジコマース連携数
- P12 ⑤【連結】ホームセンタールート得意先 上位10社取引高
- P13 ⑥海外子会社の経営成績
- P14 ⑦【親単体】令和2年(2020)12月期 売上分析
- P15 ⑧【親単体】商品分類別売上実績
- P16 ⑨【親単体】令和2年(2020)12月期 売上分析
(商品分類別)
- P17 ⑩【親単体】トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績
- P18 ⑪【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品 売上高実績

C■取組み状況

- P19 ①仕入先数及び新規掲載商品売上高／
在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数
- P20 ②【親単体】物流データ
- ③【親単体】システム稼働状況

D■財務等実績

- P21 ①【連結】販売費・一般管理費の主な増減内容
- P22 ②【連結】販売費・一般管理費
- P23 ③【連結】財務諸表
- P24 ④【連結】設備投資等の状況
- P25 ⑤令和2年(2020)度 主な設備投資・トピックス
- P26 ⑥令和2年(2020)度 主な設備投資・トピックス(2)

E■今期以降の計画

- P27 ①経営計画
- P28 ②【連結】第59期 月次売上高予算
- P29 ③【連結】第59期 販売費・一般管理費
- P30 ④ 第59期 主な設備投資・トピックス

■参考資料■

- P31 ①株式情報
- P32 ②業界での指数比較
- P33 ③【連結】令和2年(2020)12月期 四半期毎の実績(四半期)
- P34 ④【連結】令和2年(2020)12月期 四半期毎の実績(累計)
- P35 ⑤【連結】令和3年(2021)12月期 四半期毎の計画
(四半期・累計)
- P36 ⑥会社データ
- P37 ⑦当社売上高指数・鉱工業生産指数
- P38 ⑧第58期 第4四半期トピックス

本資料には、将来の業績見通しおよび事業計画に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。
また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社は現時点での最新情報に更新する義務を負っていません。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

国内のモノづくり現場においては、自動車の生産や販売が持ち直したことから業況が改善したものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であることや企業収益の悪化を受けて、設備投資の先送りや規模を縮小する動きが続きました。

このような環境下で当社は、コロナ禍でのマスクや消毒液などの需要増加により、3月は単月過去最高売上高となりました。4～5月は緊急事態宣言が発令された影響により、工場の稼働が減速、売上高の落ち込みが見られました。6月以降は徐々に回復傾向となりました。

当社での取組みについて

乗り合い通勤・最寄事業所勤務・時差勤務・在宅勤務
 通勤で公共交通機関を使用しないよう、社有車を使用し、近隣に住んでいる社員同士で乗り合い通勤を行いました。
 また感染リスク低減のため、各事業所では自宅から一番近い拠点で勤務を行うことができる最寄り事業所勤務、時差勤務、在宅勤務等を行いました。

取締役会

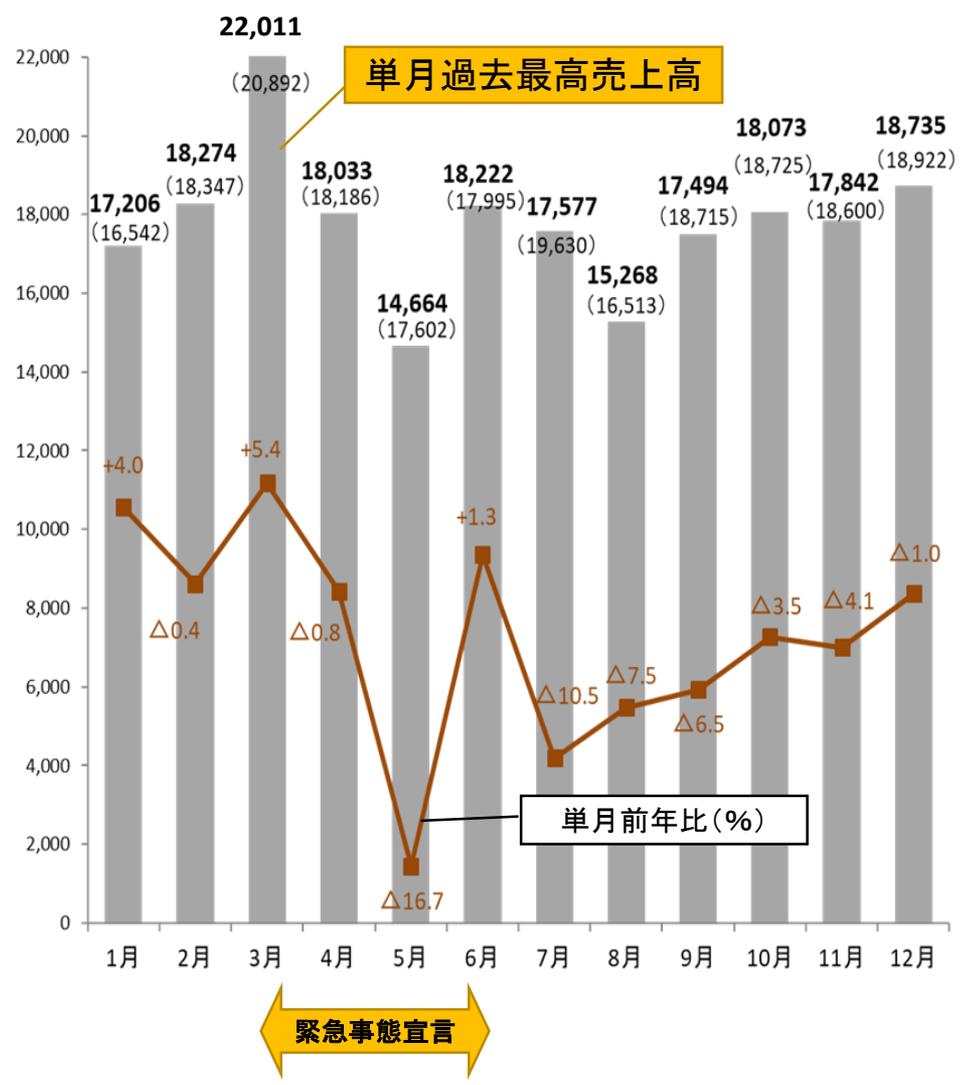
5月から取締役会をリモートで実施しました。東京本社や大阪本社、各役員の所在地からそれぞれ意見を述べました。

採用活動

今年は途中からすべてWeb上での説明会に変更しました。また選考は、学生の来社機会をつくるため、最終面接のみ対面で行い、その他の面接はすべてWebで行いました。

【連結】全社月別売上高

単位：百万円

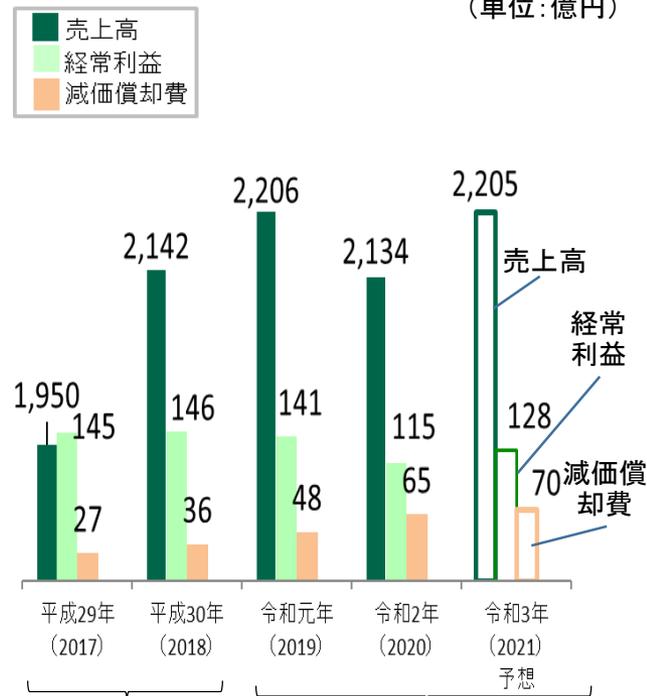


【連結】会社概要

令和2年(2020)末現在

➤売上高・経常利益・減価償却費の推移

(単位:億円)



創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 公益財団法人 中山視覚障害者福祉財団 理事長 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計98か所 国内95か所:本社2か所、支店67か所、物流センター26か所 海外3か所:現地法人:タイ、インドネシア 駐在所:ドイツ(デュッセルドルフ)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部(証券コード:9830)
従業員数	2,786名(役員12名、社員1,674名、パート1,100名)
格付状況	A(株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール(工場用副資材)の卸売業及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

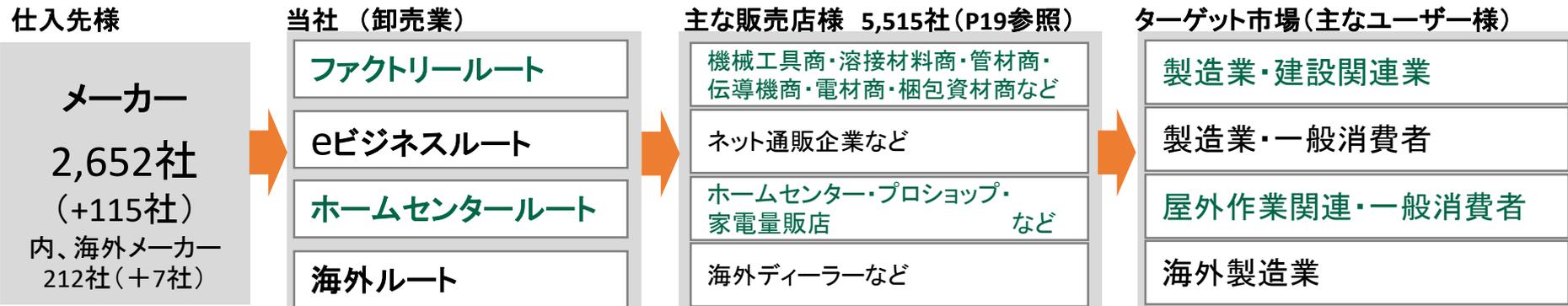
【非連結】

【連結】

*積極的な物流・デジタル投資により、減価償却費が増加。

ビジネスフロー

()前年比



A-① 【連結】経営成績

- ・令和2年10月29日に業績予想の修正を行いました。
- ・連結の売上高：前年比△3.3%、計画比は+0.7%。営業日数は前年同期より4日増加しました。(営業日数・・・前期:235日、当期:239日)
※営業日数は親単体の営業日数
- ・連結の売上総利益率：21.5% 前年比+0.2pt 要因は下記①②によるものです。
⇒①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、粗利率の高いマスクや手袋などの保護具のカテゴリの売上高が増加しました。(前年比+15.6%)
②eビジネスルートの売上高増加により、全体の売上総利益率が増加しました。(eビジネスルート詳細はP.11参照)
- ・販管費(前年比+5.0%)：設備投資による減価償却費の増加、物流設備やシステムに係る支払手数料(保守点検費)の増加が主要因です。
社員残業代は減少傾向です。(販管費詳細はP.21～22参照)

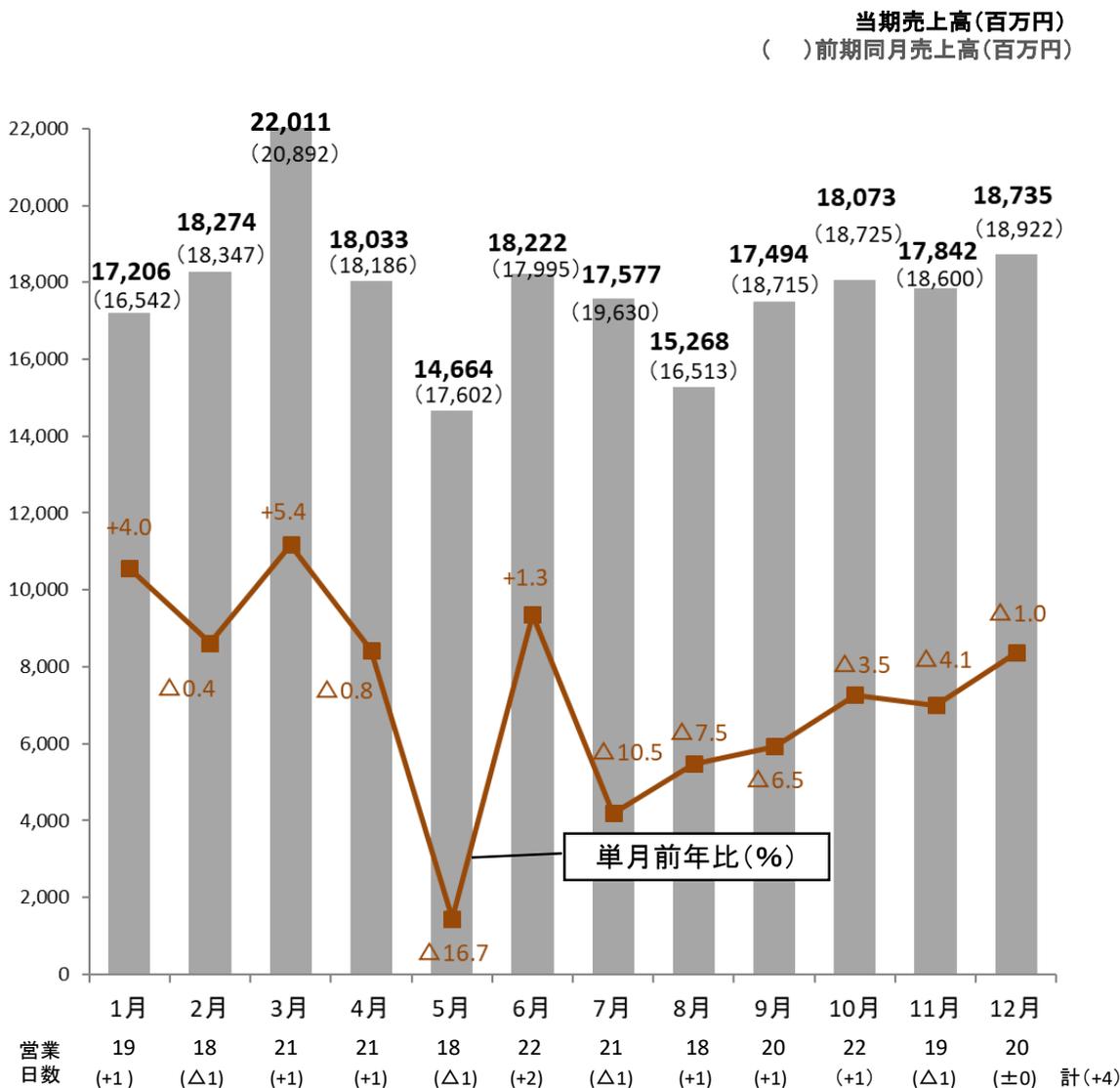
	令和元年(2019)12月期		令和2年(2020)12月期						
	実績	構成比(%)	実績	前年比	構成比(%)	予算	構成比(%)	予算差額	予算比(%)
売上高	2,206億74百万円	-	2,134億04百万円	△ 3.3%	-	2,119億65百万円	-	+14億39百万円	+0.7
売上総利益	470億34百万円	21.3	459億09百万円	△ 2.4%	21.5	461億70百万円	21.8	△2億60百万円	△0.6
販売費及び一般管理費	332億37百万円	15.1	348億91百万円	+ 5.0%	16.4	351億22百万円	16.6	△2億30百万円	△0.7
(うち減価償却費)	48億76百万円	2.2	65億65百万円	+ 34.6%	3.1	64億58百万円	3	+1億06百万円	+1.7
営業利益	137億97百万円	6.3	110億17百万円	△ 20.1%	5.2	110億48百万円	5.2	△30百万円	△0.3
経常利益	141億97百万円	6.4	115億59百万円	△ 18.6%	5.4	114億12百万円	5.4	+1億47百万円	+1.3
親会社株主に帰属する当期純利益	96億13百万円	4.4	80億07百万円	△ 16.7%	3.8	78億50百万円	3.7	+1億57百万円	+2.0
1株当たり当期純利益	145円78銭	-	121円43銭	△24円35銭	-	119円04銭	-	+2円39銭	-
1株当たり配当金	36円50銭	-	30円50銭	△6円00銭	-	30円00銭	-	+50銭	-

A-② 【親単体】経営成績

	令和元年（2019）12月期		令和2年（2020）12月期						
	実績	構成比（%）	実績	前年比	構成比（%）	予算	予算構成比（%）	予算差額	予算比（%）
売上高	2,203億57百万円	—	2,132億05百万円	△3.2%	—	2,117億86百万円	—	14億19百万円	+0.7
売上総利益	468億56百万円	21.3	457億33百万円	△2.4%	21.5	459億94百万円	21.7	△2億60百万円	△0.6
販売費及び一般管理費	329億34百万円	14.9	346億30百万円	+5.1%	16.2	348億64百万円	16.5	△2億33百万円	△0.7
（うち減価償却費）	48億01百万円	2.2	64億95百万円	+35.3%	3.0	64億58百万円	3.0	37百万円	+0.6
営業利益	139億21百万円	6.3	111億02百万円	△20.2%	5.2	111億30百万円	5.3	△27百万円	△0.2
経常利益	143億02百万円	6.5	116億35百万円	△18.7%	5.5	114億84百万円	5.4	1億51百万円	+1.3
当期純利益	97億15百万円	4.4	80億85百万円	△16.8%	3.8	79億25百万円	3.7	1億60百万円	+2.0
PB売上高	438億90百万円	19.9	413億02百万円	△5.9%	19.4	417億60百万円	19.7	△4億57百万円	△1.1
1株当たり当期純利益	147円32銭	—	122円62銭	△24円70銭	—	120円18銭	—	2円44銭	—

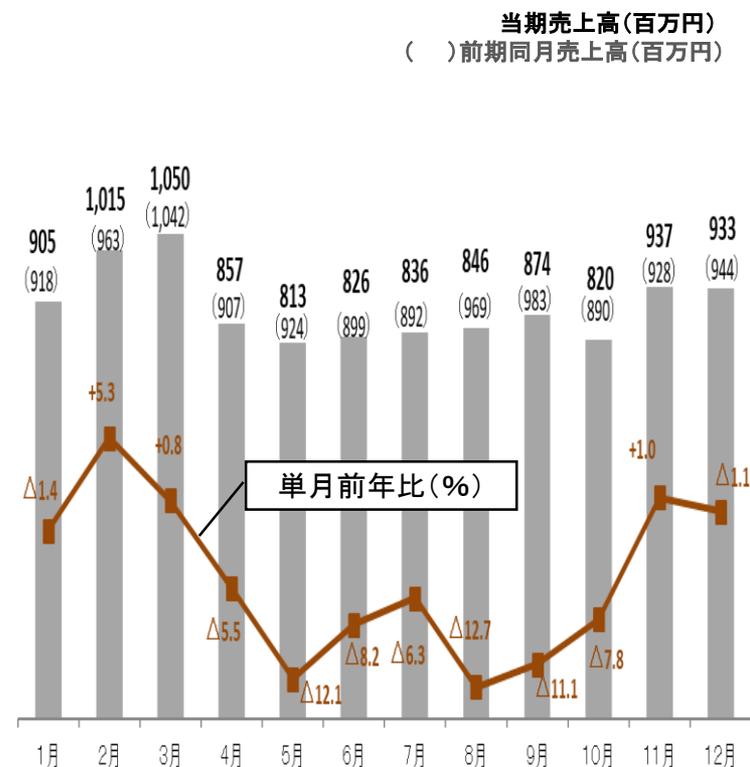
A-③令和2年(2020)12月期 全社月次売上高/1日当たり売上高

【連結】全社合計



【親単体】全社1日当たり平均売上高推移

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高で前年との比較を行っております。
また、多くの企業の決算月である3月は売上高が大きい繁忙期となっています。
実績は親会社の営業日数で算出しています。



B-① 【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益

■販売セグメント別 連結売上高

	令和元年(2019)12月期				令和2年(2020)12月期										
	売上高		売上総利益率	経常利益	売上高						売上総利益率		経常利益		
販売ルート	実績	構成比	実績	実績	実績	構成比	前年増加額	前年比	予算	予算差額	予算比	実績	前年比	実績	前年比
ファクトリールート	1,700億41百万円	77.1%	20.8%	109億32百万円	1,567億65百万円	73.4%	△132億76百万円	△7.8%	1,556億89百万円	+10億75百万円	+0.7%	20.9%	+0.1pt	78億63百万円	△28.1%
eビジネスルート	344億92百万円	15.6%	25.1%	31億55百万円	384億17百万円	18.0%	+39億25百万円	+11.4%	382億70百万円	+1億47百万円	+0.4%	25.3%	+0.2pt	31億37百万円	△0.6%
ホームセンタールート	147億03百万円	6.7%	17.5%	64百万円	169億92百万円	8.0%	+22億89百万円	+15.6%	167億84百万円	+2億08百万円	+1.2%	17.6%	+0.1pt	2億90百万円	+350.7%
海外ルート	14億37百万円	0.6%	28.5%	△2億34百万円	12億28百万円	0.6%	△2億08百万円	△14.5%	12億20百万円	+8百万円	+0.7%	32.0%	+3.5pt	△2億10百万円	-
全社合計	2,206億74百万円	100%	21.3%	141億97百万円	2,134億04百万円	100%	△72億70百万円	△3.3%	2,119億65百万円	+14億39百万円	+0.7%	21.5%	+0.2pt	115億59百万円	△18.6%

■ファクトリールート 前年比:△7.8%

緊急事態宣言後の市況は回復傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、設備投資関連の案件が引き続き停滞しました。工場の稼働が戻りはじめ、消耗品の売上高は徐々に回復しました。(10ページ参照)

■eビジネスルート 前年比:+11.4%

内訳は、通販企業様向けが前年比+13.0%、電子購買連携企業様向けが前年比+6.2%です。(11ページ参照)

一部の通販企業様において景況感の影響により売上の減速がみられたものの、取扱商品の拡大や新型コロナウイルス感染症拡大の巣ごもり効果により、主にBtoCの通販企業様への受注が増加し、売上高が拡大しました。

■ホームセンタールート 前年比:+15.6%

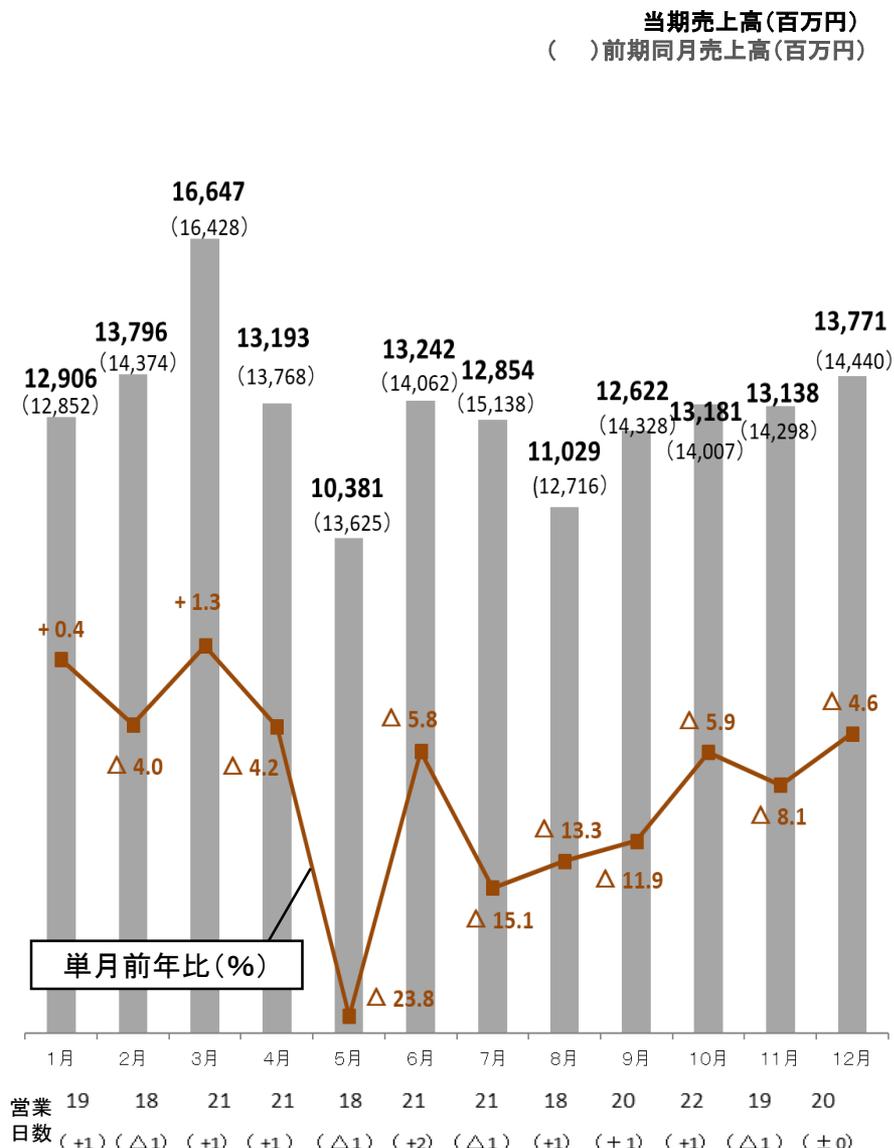
巣ごもり効果によるDIY需要の増加、他社からの仕入先変更による売上高増加など、主力のホームセンター様とのお取引が好調に推移しました。またプロショップ様への売上高拡大も継続しました。(12ページ参照)

■海外ルート 前年比:△14.5%

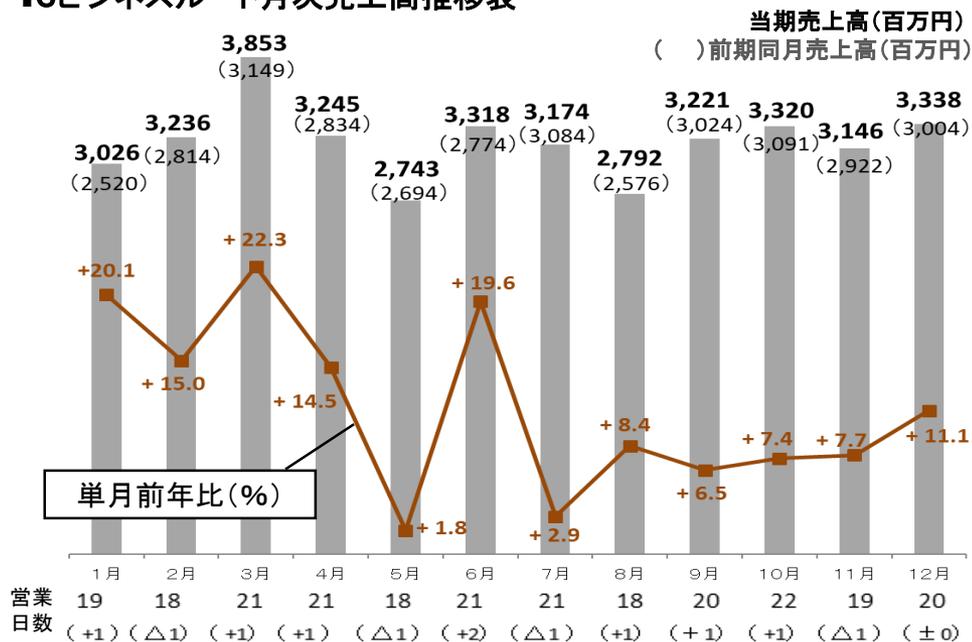
タイ、インドネシアでも新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自動車産業を中心とした減産による売上減速が見られました。全体の業績に与える影響は軽微であるものの、引き続き既存のお客様との取組強化、新規開拓を積極的に行います。(13ページ参照)

B-② 【連結】販売セグメント別月次売上高推移表

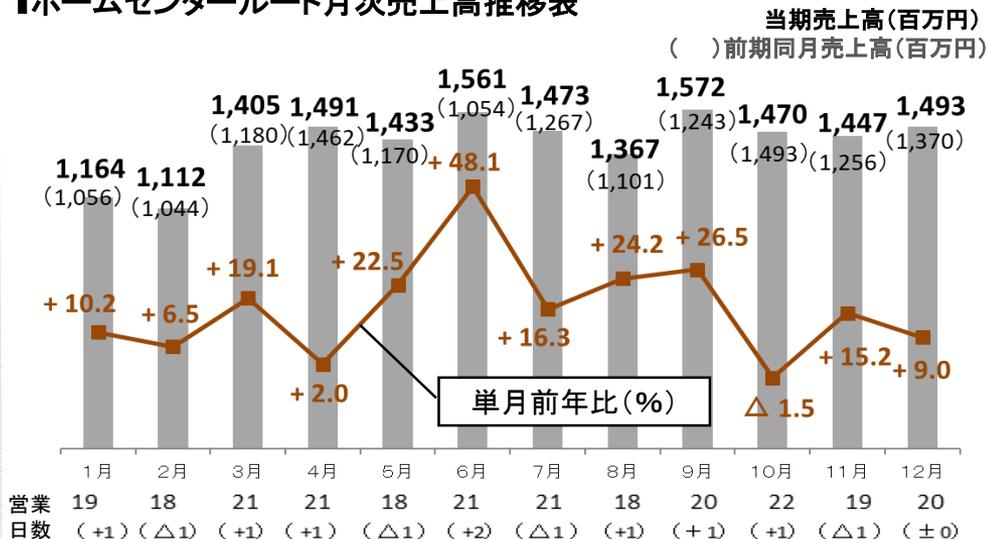
【ファクトリールート月次売上高推移表



【eビジネスルート月次売上高推移表

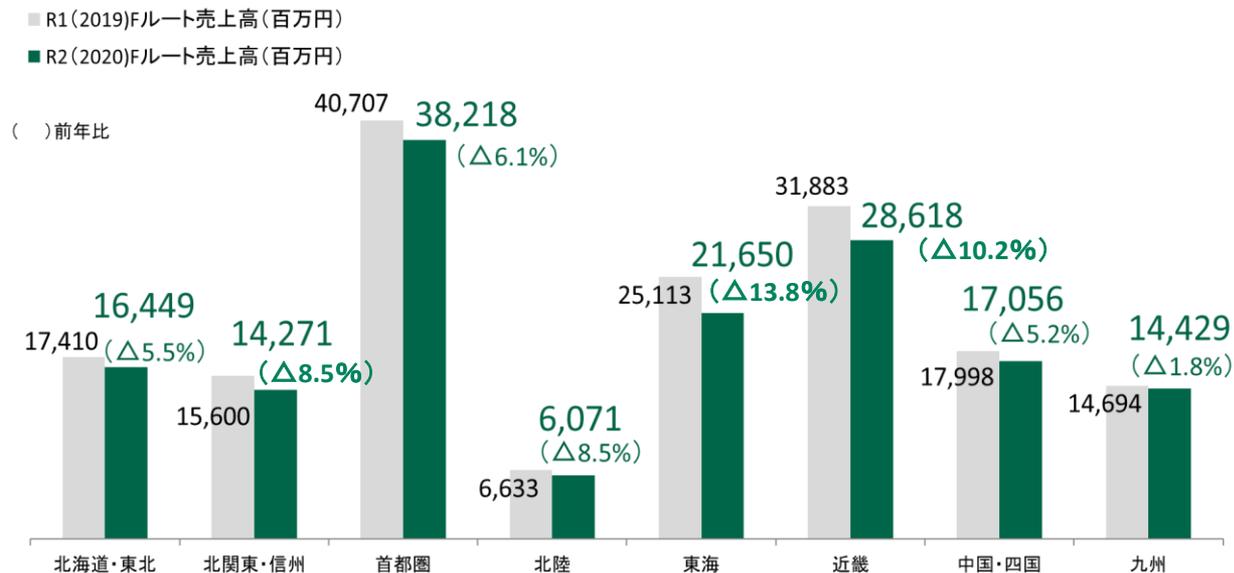


【ホームセンタールート月次売上高推移表

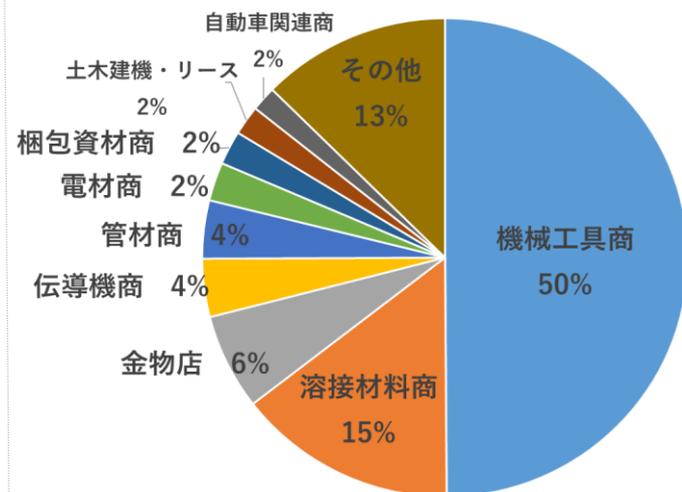


B-③ 【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・販売ルート別実績

■ファクトリールートブロック別売上高



■ファクトリールート業種別売上高構成比



■ファクトリールート販売ルート別売上高

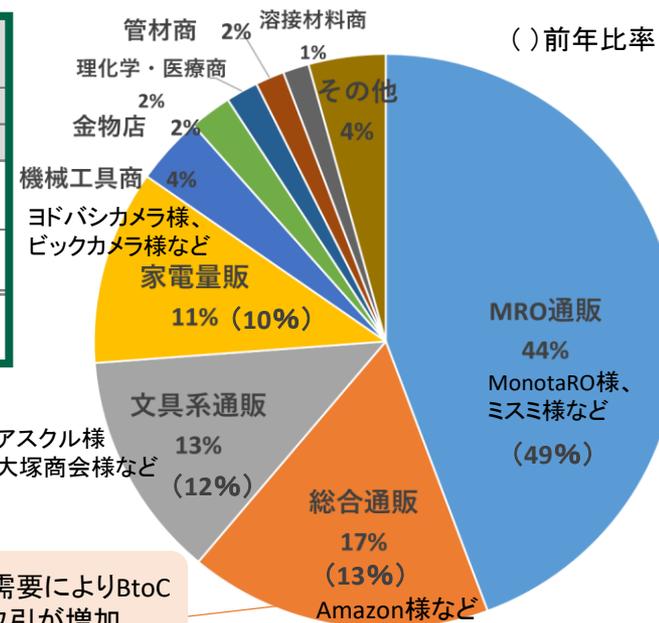
販売ルート	令和元年(2019)12月期			令和2年(2020)12月期							
	売上高		売上 総利益率	売上高				売上 総利益率		実績	前年比
	実績	構成比		実績	構成比	前年比	予算	予算比			
機械工具商	880億68百万円	51.9%	20.6%	783億58百万円	50.0%	△11.0%	785億10百万円	△0.2%	20.7%	+0.1pt	
溶接材料商	245億43百万円	14.4%	21.2%	229億88百万円	14.7%	△6.3%	227億04百万円	+1.3%	21.2%	±0.0pt	
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	274億52百万円	16.1%	20.5%	257億03百万円	16.4%	△6.4%	254億10百万円	+1.2%	20.7%	+0.2pt	
建設関連	299億77百万円	17.6%	21.4%	297億16百万円	18.9%	△0.9%	290億64百万円	+2.2%	21.5%	+0.1pt	
ファクトリールート合計	1,700億41百万円	100.0%	20.8%	1,567億65百万円	100.0%	△7.8%	1,556億89百万円	+0.7%	20.9%	+0.1pt	

B-④ 【連結】eビジネスルート売上高・オレンジコマース連携数

■eビジネスルート売上高

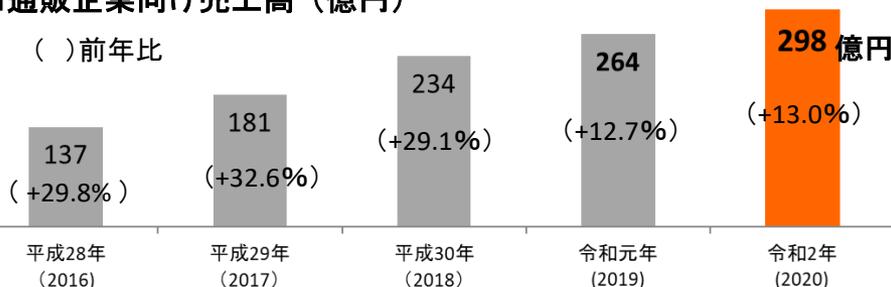
販売ルート	令和元年(2019)12月期		令和2年(2020)12月期				
	売上高		売上高			売上総利益率	
	実績	構成比	実績	構成比	前年比	実績	前年比
通販企業向け	264億52百万円	76.7%	298億79百万円	77.8%	+13.0%	24.6%	+0.1pt
オレンジコマース(電子購買) 連携企業向け	80億40百万円	23.3%	85億38百万円	22.2%	+6.2%	27.8%	+0.6pt
eビジネスルート合計	344億92百万円	100.0%	384億17百万円	100.0%	+11.4%	25.3%	+0.2pt

■通販企業向け売上高 業種別売上高比率



■通販企業向け売上高(億円)

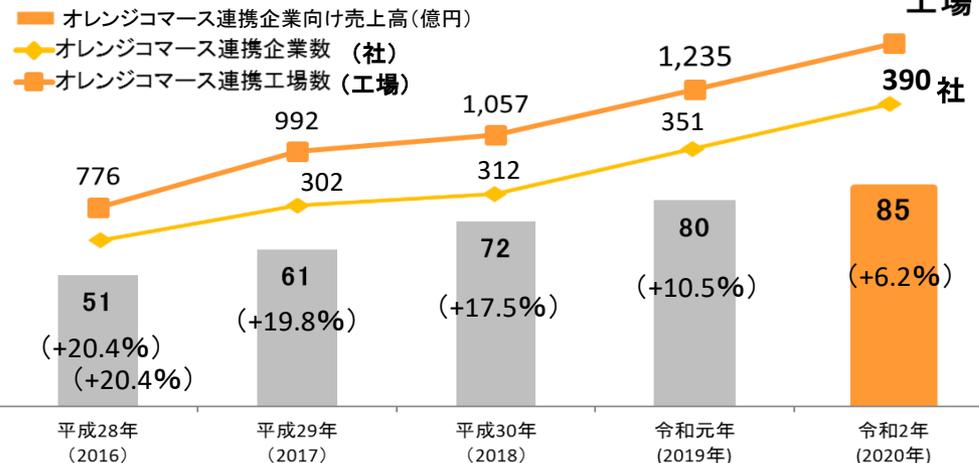
() 前年比



コロナ禍での巣ごもり需要によりBtoCの通販企業様とのお取引が増加

■オレンジコマース(電子購買)連携数推移

() 前年比



■電子購買とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット(システム)を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。



ユーザー様の購買システムとトラスコ中山のシステムが連携し、物流は販売店様との三社間で行います。

B-⑤ 【連結】ホームセンタールート上位10社 取引高

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター様各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。今後は、プロショップ様・資材館のあるホームセンター様との取組を強化し、当社総合力をもって商品販売を行っていきます。

■ホームセンター得意先別売上高

単位: 百万円、%

順位	得意先名	令和元年 (2019)12月期	令和2年 (2020)12月期	前年比
1	DCM ホダカ(株)(プロショップ)	1,956	2,119	+ 8.3
2	(株)ナフコ	1,569	1,929	+ 22.9
3	コーナン商事(株)	1,270	1,871	+ 47.3
4	(株)カインズ	1,154	1,353	+ 17.3
5	ロイヤルHC(株)	1,322	1,341	+ 1.5
6	DCMカーマ(株)	1,181	1,296	+ 9.7
7	DCMホームマック(株)	1,149	1,191	+ 3.6
8	(株)島忠	897	973	+ 8.4
9	(株)コメリ	583	724	+ 24.1
10	DCMダイキ(株)	553	639	+ 15.5
10社合計		11,638	13,439	+ 15.5
HCルート売上合計		14,703	16,992	+ 15.6
10社のルート売上占有率		79.2	79.1	△ 0.1

新型コロナウイルス感染症拡大による巣ごもり効果でホームセンター様への客足が増加したことにより、売上高が増加しました。また当社から調達いただける商品アイテム数が増加したことにより、売上高が好調に推移しました。またホームセンター様は、ネットと店舗を融合させ、来店客へのサービスを向上させるという取組をされており、当社の在庫を便利にご利用いただきました。

■DCM ホールディングスへの売上高
合計: 5,819百万円 (前年比+7.3%)

DCMホダカ(株)、DCMカーマ(株)、DCMホームマック(株)、DCMダイキ(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)、(株)ケーヨー、DCM ONLINE

■プロショップ様向けの売上高

合計: 2,147百万円 (前年比:+12.0%)

プロの職人さんや工員さんが使用する工具などに特化して商品を販売している店舗をプロショップと呼んでいます。当社の取扱商品と親和性が高く、売上高が伸びている販売先です。

各企業名の敬称を省略しております。

B-⑥ 海外子会社の経営成績

■海外子会社の単体業績

令和2年(2020)12月期

単位:百万円

		売上高	売上 総利益	販売費及び 一般管理費	営業利益	経常利益	当期純利益
内)トラスコナカヤマ タイランド 1パーツ=3.44円 (前年3.63円)	実績	573	127	147	△19	△19	△19
	率	-	22.3%	25.7%	-	-	-
	前年比	△23.8%	△29.4%	△6.7%	-	-	-
内)トラスコナカヤマ インドネシア 1ルピア=0.0073円 (前年0.0079円)	実績	206	44	117	△73	△67	△67
	率	-	21.5%	57.1%	-	-	-
	前年比	△20.4%	△30.7%	△18.4%	-	-	-

■第58期の概況

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、タイでは非常事態宣言の再延長、インドネシアでも大規模社会制限の強化が実施されました。工場の稼働停止や生産調整が行われ、売上高は低調に推移しました。

尚、第58期4月にトラスコナカヤマインドネシアの現地法人社長、同期10月に担当役員、部長、第59期1月にトラスコナカヤマタイランドの現地法人社長の交代を行いました。

■第59期の取組み

今後は得意先様との深耕をより深めるため、必要在庫の積み増しや通販企業様向けに商品データベースの整備、仕入先様の代理店権獲得等に取り組めます。

【参考】親会社におけるその他海外地域の売上実績

令和2年(2020)12月期

単位:百万円

		売上高	売上 総利益
その他海外地域への売上実績 (フィリピン、中国、韓国など)	実績	449	111
	率	-	24.8%
	前年比	+5.4%	+13.9%

トラスコナカヤマ タイランド	2010年9月設立
トラスコナカヤマ インドネシア	2014年12月設立

B-⑦ 【親単体】令和2年(2020)12月期 売上分析

(単位:百万円)

令和2年(2020年)12月期 業績推移

売上高 7,152百万円減少

令和元年(2019)
12月期

新型コロナウイルス感染症
関連需要

+3,813

取扱商品の増加等による
需要増加分

+1,666

工場の稼働減少による
減少額

△12,631

令和2年(2020)
12月期

《主な内訳》

【新型コロナウイルス感染症関連需要】+3,813百万円

- ・保護具(マスク、手袋、安全靴等) : +2,759百万円
- ・研究管理用品(消毒、洗浄剤等) : +553百万円
- ・オフィス雑貨(手洗い用品等) : +501百万円

【取扱商品の増加等による需要増加分】+1,666百万円

- ・化学製品(接着剤、グリス等) : +550百万円
 - ・工事用品(発電機等) : +316百万円
 - ・文具用品(マスキングテープ、ラベル用品等) : +120百万円
- など

【工場の稼働減少による減少額】△12,631百万円

- ・物流保管用品(運搬、コンテナ、スチール棚等) : △3,402百万円
 - ・切削工具、生産加工用品(超硬工具、ボール盤等) : △2,808百万円
 - ・ハンドツール(空圧工具、電動工具等) : △2,449百万円
 - ・作業用品(研削砥石、キャスト等) : △1,003百万円
- など

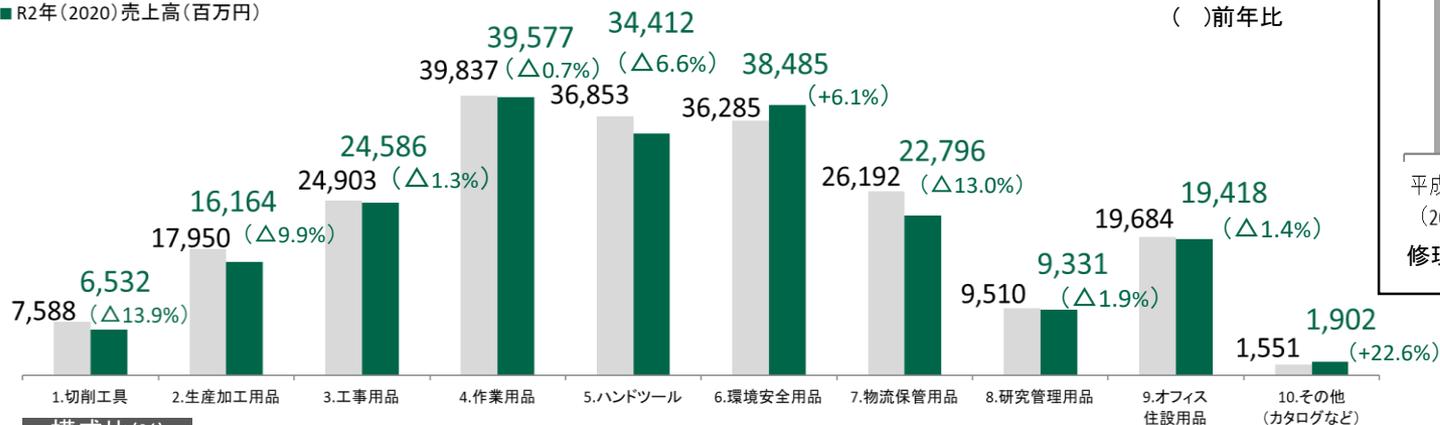
220,357

213,205
(△3.2%)

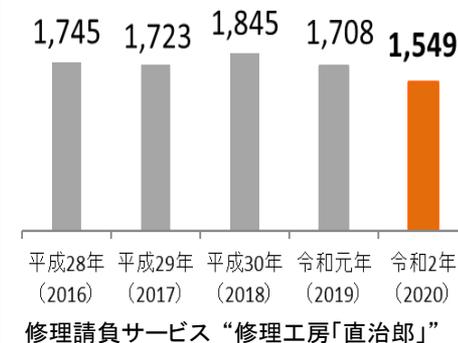
B-⑧ 【親単体】商品分類別 売上実績

大分類別売上高グラフと中分類内訳

■ R1年(2019)売上高(百万円)
■ R2年(2020)売上高(百万円)



■修理品売上高(百万円)



構成比(%)

商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年比	粗利率	
1.切削工具 3.1	① 切削工具	2,959	1.4	△16.7	11.3	6.環境安全用品 18.0	②5 保護具	20,975	9.8	+15.6	26.0	
	② 穴あけ・ネジきり工具	3,573	1.7	△11.4	21.2		②6 安全用品	9,018	4.2	△2.0	25.9	
2.生産加工用品 7.6	③ 測定計測	8,369	3.9	△6.5	16.6	②7 環境改善用品	1,815	0.9	△8.5	20.5		
	④ メカトロニクス	3,370	1.6	△8.7	15.8	②8 冷暖房用品	3,983	1.9	△5.4	17.2		
	⑤ 工作機工具	2,008	0.9	△19.7	23.6	②9 防災・防犯用品	895	0.4	△1.0	21.0		
	⑥ 電動機械	2,415	1.1	△13.9	11.3	③0 物置・エクステリア用品	1,796	0.8	△2.1	16.3		
	3.工事用品 11.5	⑦ 油圧工具	1,818	0.9	△7.3	11.8	7.物流保管用品 10.7	③1 荷役用品	6,736	3.2	△8.3	17.4
		⑧ ポンプ	3,146	1.5	△5.7	16.4		③2 コンベヤ	1,099	0.5	△14.3	16.4
⑨ 溶接用品		2,013	0.9	+0.8	18.2	③3 運搬用品		8,298	3.9	△17.6	22.9	
⑩ 塗装・内装用品		2,247	1.1	△1.3	26.0	③4 コンテナ・容器		3,405	1.6	△7.8	30.6	
⑪ 土木建築		2,473	1.2	+14.7	12.2	③5 スチール棚		3,256	1.5	△14.3	27.1	
⑫ はしご・脚立		2,872	1.3	△10.9	22.7	8.研究管理用品 4.4		③6 ツールワゴン	898	0.4	△14.6	28.5
⑬ 配管・電設資材		3,411	1.6	△1.1	23.6		③7 保管・管理用品	1,101	0.5	△18.8	32.4	
4.作業用品 18.6		⑭ 部品・金物・建築資材	6,602	3.1	+1.5	28.1	9.オフィス住設用品 9.1	③8 作業台	1,320	0.6	△10.1	28.2
	⑮ 切断用品	1,330	0.6	△2.9	22.8	③9 ステンレス用品		1,779	0.8	△8.9	18.3	
	⑯ 研削・研磨用品	6,772	3.2	△7.1	23.4	④0 研究開発関連用品		4,231	2.0	+15.0	20.8	
	⑰ 化学製品	20,119	9.4	+2.8	22.0	10.その他 0.9		④1 清掃用品	5,707	2.7	△2.5	23.1
	⑱ 梱包結束用品	4,957	2.3	△5.0	31.5			④2 文具用品	1,982	0.9	+5.7	19.2
	⑲ 空圧工具用品	5,755	2.7	△14.1	18.4			④3 オフィス雑貨	3,030	1.4	+19.0	27.2
	⑳ キャスター	2,682	1.3	△6.3	18.4		④4 電化製品	3,257	1.5	△8.5	22.6	
	5.ハンドツール 16.1	㉑ 電動工具・用品	9,331	4.4	△7.1		14.7	④5 O.A事務用機器	1,655	0.8	+2.3	26.7
㉒ 空圧工具用品		5,755	2.7	△14.1	18.4		④6 事務用家具	3,518	1.7	△10.9	24.5	
㉓ 手作業工具		17,571	8.2	△4.0	22.2		④7 インテリア用品	264	0.1	△5.9	22.2	
㉔ 工具箱		1,754	0.8	△3.2	30.6		④8 全体	1,902	0.9	+22.6	-	
合計		213,205	100.0	△3.2	21.5							

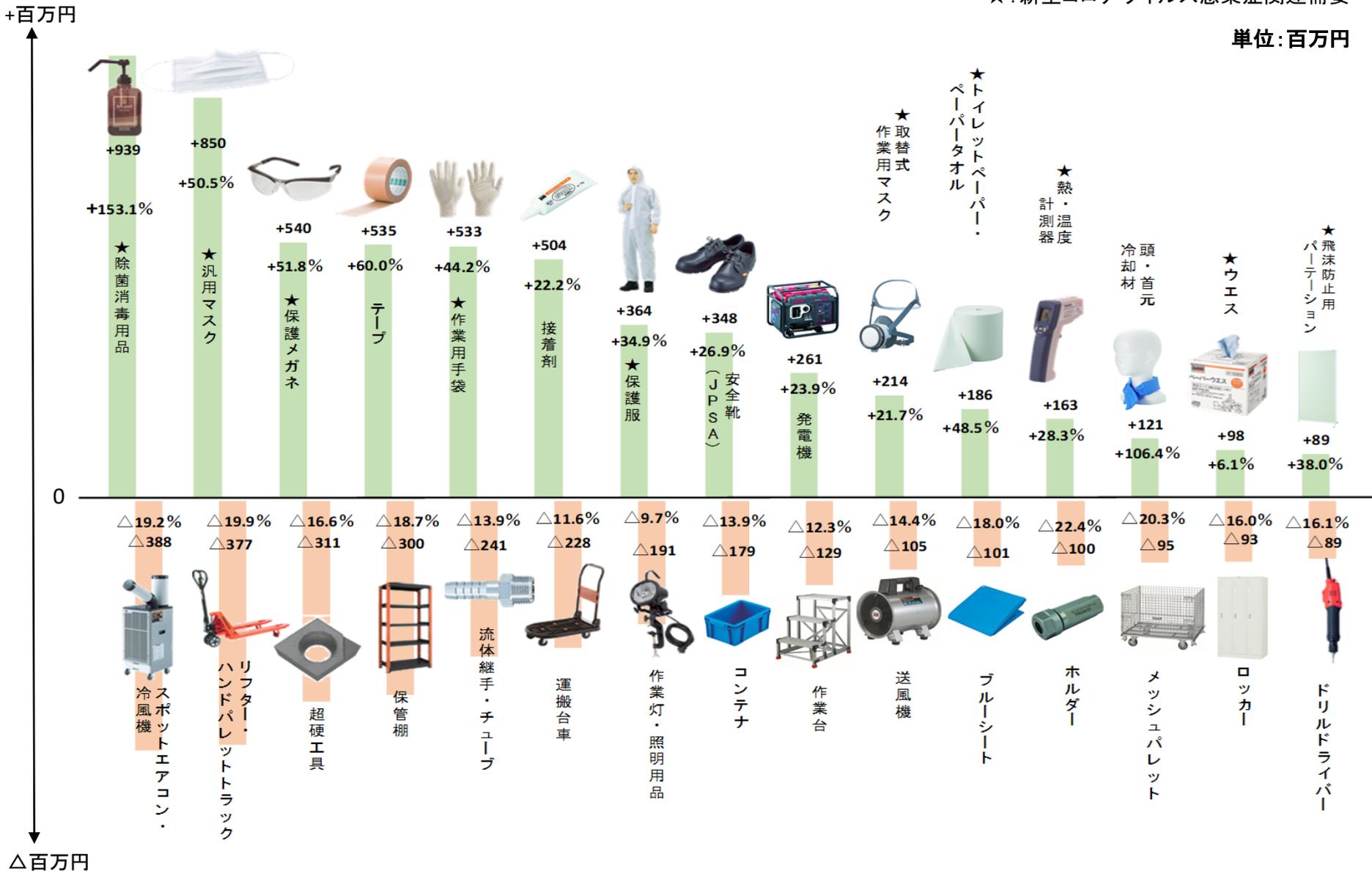
(単位：百万円、%)

B-⑨ 【親単体】令和2年(2020) 売上分析(商品分類別)

■令和2年(2020年)12月期 商品別増減グラフ

★:新型コロナウイルス感染症関連需要

単位:百万円



B-⑩ 【親単体】トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績

■お客様の利便性を高めるツール

トラスコ
オレンジブック



モノづくり現場で必要とされるあらゆるプロツールを掲載しているカタログ。紙カタログの見やすさとWEBの携帯性・検索性を融合した「トラスコ デジタルオレンジブック」も提供しています。

掲載商品数：約471,000アイテム(2021年版)
掲載メーカー数：1,851社
総ページ数：17,136ページ
年間発行部数：190,000部
サイズ：A4判(B5判から変更)

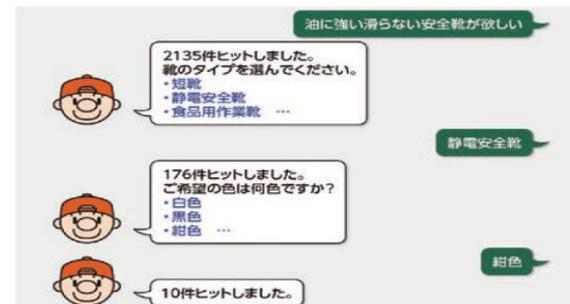
トラスコ
オレンジブック.Com



プロツールの商品検索や購入を目的とした総合サイト。商品見積・注文・返品が可能で、リアルタイムで在庫が確認できます。昨年リニューアルし、検索性や利便性が更に向上しました。

公開アイテム数：約233万点
システム受注率：83.9%
商品の安全データシートや図面、含有物調査票もダウンロード可
24時間対応

トラスコ
AI オレンジレスキュー



AIの学習機能を駆使した対話型商品検索サービス。問合せに対して即時の返答が可能で、自然言語や同義語、業界特有の専門用語にも対応しています。

AIコミテくん(チャットボット)の特徴
・自然言語で対応
・音声入力対応
・スマートフォンでも対応

■トラスコオレンジブック掲載商品カテゴリ別売上高

商品分類別売上高をトラスコオレンジブック掲載カテゴリ別に分類し、表記しています。

分類	売上高	前年比(%)	分類	売上高	前年比(%)	分類	売上高	前年比(%)
1. 切削工具	70億03百万円	△13.0	9. 手作業工具	160億79百万円	△7.4	17. 搬送機器	82億99百万円	△18.1
2. 工作機工具	23億44百万円	△22.1	10. 電動・油圧・空圧工具	203億59百万円	△6.1	18. 清掃・衛生用品	120億33百万円	+6.8
3. 測定・計測用品	89億60百万円	△7.2	11. 保護具	220億34百万円	+15.8	19. 環境改善用品	88億22百万円	△1.3
4. メカ口部品	28億51百万円	△2.7	12. 安全用品	48億22百万円	△4.1	20. 園芸用品	19億61百万円	+17.9
5. 金物・建築資材	76億10百万円	△0.3	13. 梱包用品	146億71百万円	+0.9	21. オフィス・住設用品	94億72百万円	△6.2
6. 空圧用品	43億61百万円	△9.3	14. 工事・照明用品	201億77百万円	△4.4	22. 研究用品	51億32百万円	△1.0
7. 電子機器	36億94百万円	△1.8	15. 荷役用品	76億88百万円	△8.2			
8. 化学製品	130億98百万円	+1.8	16. 物流・保管用品	117億79百万円	△11.7			

B-⑪ 【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品 売上高実績

プライベート・ブランド商品においても新型コロナウイルス関連需要増によりマスクや保護具などの環境安全用品の売上高は増加したものの、設備投資の減少などにより、その他の商品群は売上高が減少しました。

■PB分類別売上高の主な内訳 ※海外ルートは除く

単位：百万円

	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	粗利率	構成比	粗利率	構成比	粗利率	構成比	粗利率
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
合計	41,302	△5.9%	30,537	△9.5%	9,467	+6.7%	1,053	+11.5%
切削工具	678	△4.9%	487	△6.5%	115	+5.0%	66	+0.4%
生産加工用品	1,444	△7.8%	1,065	△10.1%	337	+0.3%	21	+10.3%
工事用品	3,468	△3.8%	2,537	△7.1%	855	+7.4%	61	+6.5%
作業用品	7,365	△4.4%	5,878	△6.3%	1,361	+4.3%	79	+4.8%
ハンドツール	4,252	△6.5%	3,021	△11.1%	1,041	+9.1%	138	+5.7%
環境安全用品	7,866	+7.2%	5,955	+2.3%	1,682	+21.7%	203	+88.2%
物流保管用品	9,343	△12.7%	6,621	△17.0%	2,235	+0.6%	447	+2.4%
研究管理用品	3,012	△15.2%	2,299	△18.7%	693	+1.6%	3	+20.8%
オフィス住設用品	3,866	△7.0%	2,671	△11.1%	1,145	+5.5%	27	△36.9%
その他	4	+32.6%	0	△45.5%	-	-	4	+32.6%

■プライベート・ブランド(PB)商品

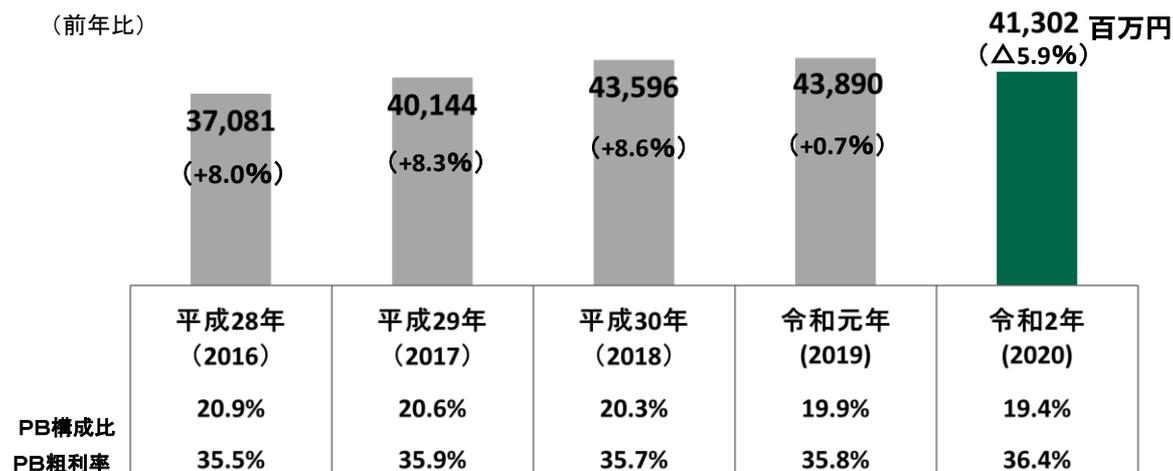


年間約5,000アイテムの新規商品を投入している自社企画開発商品。ナショナル・ブランド商品に比べ利益率が高く、売上高構成比は19.4%を占めています。

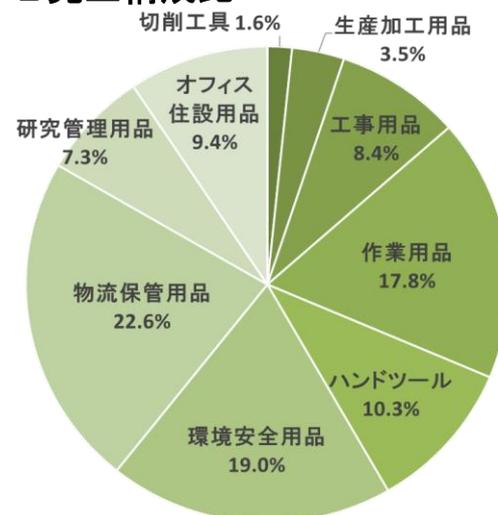


■PB商品 売上高推移 単位：百万円

(前年比)

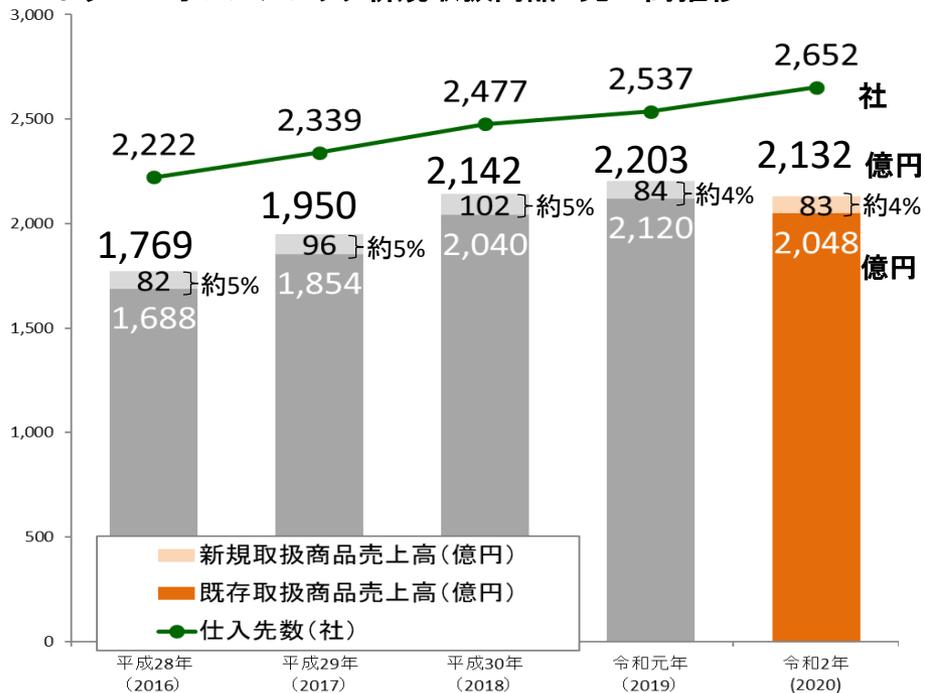


■PB売上構成比

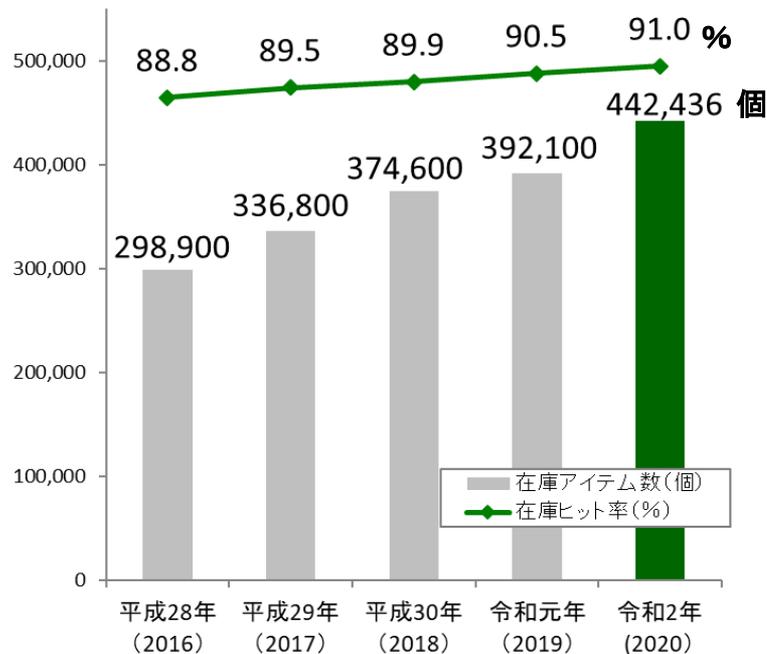


C-① 仕入先数及び新規掲載商品売上高／在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数

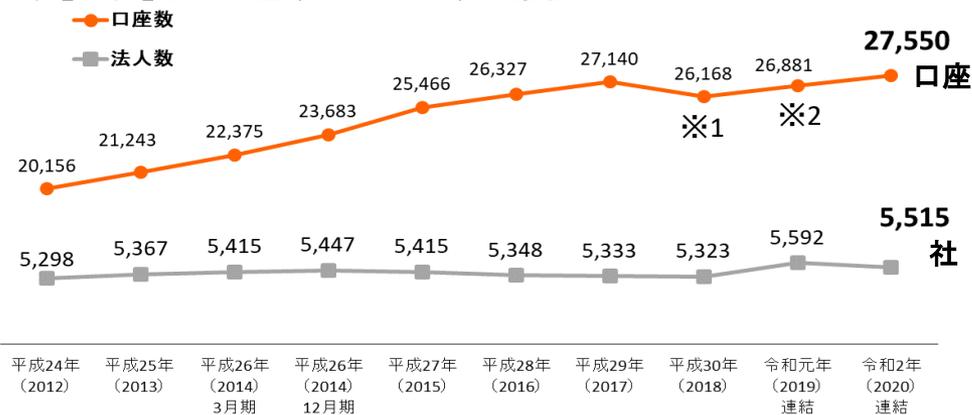
1、【親単体】仕入先数の推移及び全社売上高における トラスコ オレンジブック新規取扱商品 売上高推移



2、【親単体】在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移



3、【連結】販売口座数及び法人数の推移



1、売上高のうち4%程度は、その年に商品カタログ「トラスコ オレンジブック」へ新規掲載された商品の売上高で構成されています。

2、在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数
アイテム数および在庫ヒット率は年々増加傾向にあります。

3、小規模法人の廃業等により法人数は横ばいですが、多店舗を持つ法人とのお取引が増加しているため、口座数は増加傾向にあります。

※1 平成30年(2018)の口座数減少は、ホームセンタールート取引先の取引終了による口座抹消が主な要因です。

※2 令和元年(2019)より海外子会社を含む法人数・口座数を掲載しています。

C-② 【親単体】物流データ

■配達便・社内間配送便 台数

	台数	前年比
総配達便数	270台	△3台
備車便(契約配達便)	160台	△15台
自社配達便	110台	+12台
社内間配送便	32台	△3台
備車便(契約便)	28台	△7台
自社便	4台	+4台
配達便・社内間輸送便計	302台	△6台

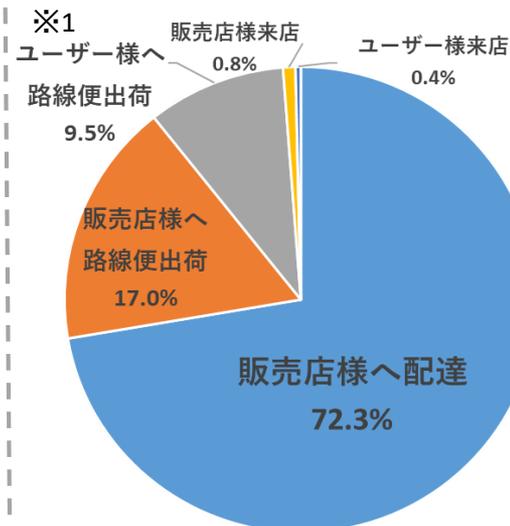
配達便について

配送ルートや在庫の社内移動を効率化することで配達便・社内間配送便の減便をすすめ、台数の適正化を図っています。

また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社便率は40.7%で、増加傾向にあります。今後は自社便率50%まで高めることを目標としています。

■納品区分の実績

【受注行数ベース】



※1ユーザー様への路線便出荷については依頼された得意先様に運賃を負担いただきます。

C-③ 【親単体】システム稼働状況

■システム受注(FAX-OCR含む)実績

令和2年12月末時点

受注実績	受注行数(行)	占有率前年比(pt)	行数占有率
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	14,110,774	△2.5	40.1%
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	6,929,959	※1 +2.6	19.7%
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	680,455	±0	1.9%
DOTKUL (ドットクル) FAX-OCR	241,640	※2 △0.4	0.7%
EOS ホームセンター電子発注システム	7,605,588	+1.2	21.6%
計	29,568,416	+1.9	83.9%

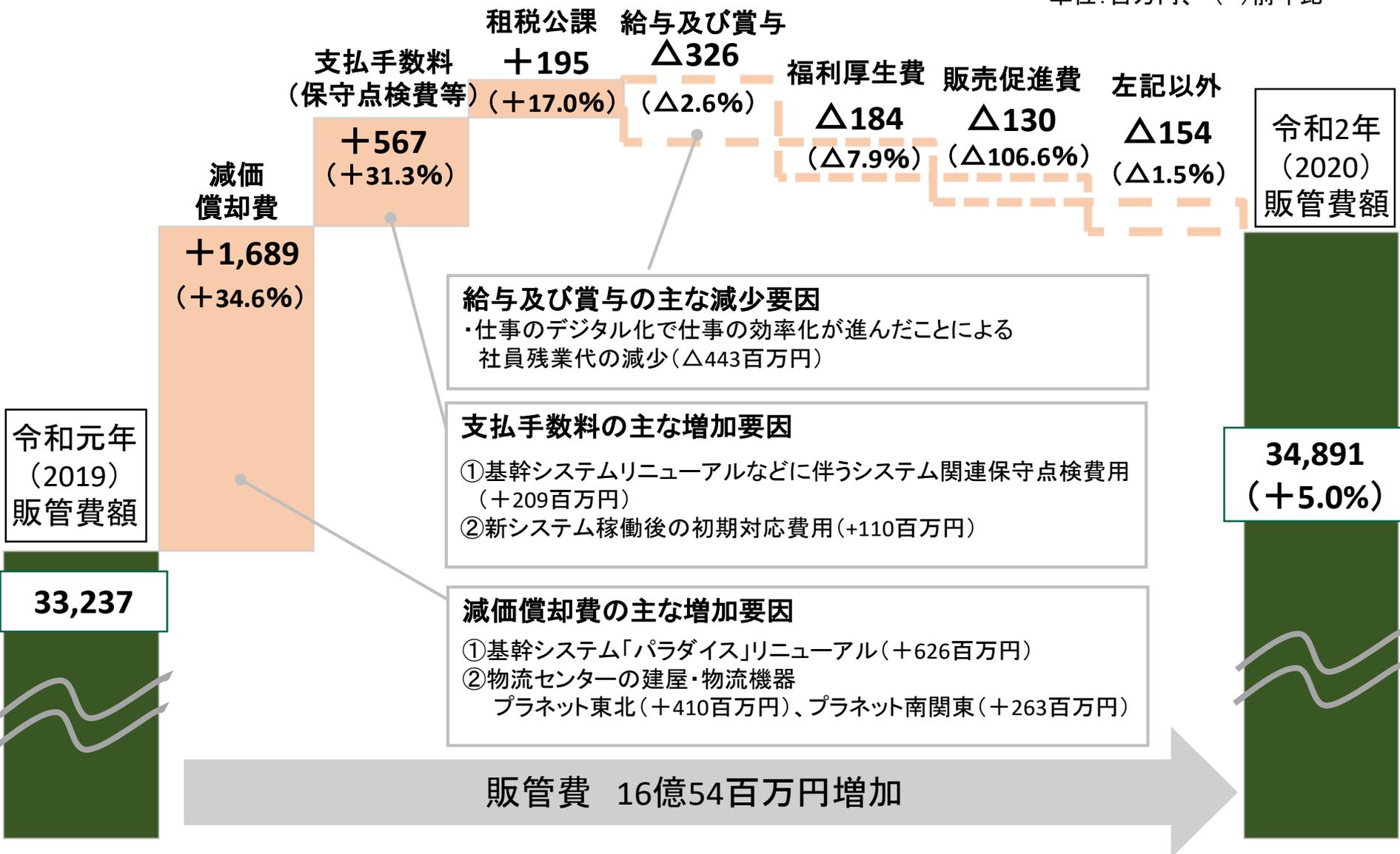
当社の商品データを連携させることにより、お客様への利便性向上を図ります。システム受注率は年々増加傾向です。

※1: 販売店様の発注システムと当社のデータ連携を行い発注作業を行う、トラスコEDIの占有率が向上しました。

※2: FAX-OCR DOTKUL(ドットクル)は利用率の低下により2023年5月にサービスを終了する予定です。

D-① 【連結】第58期 販売費・一般管理費の主な増減内容

単位:百万円、()前年比



増減要因の詳細は次ページをご参照ください。

D-② 【連結】販売費・一般管理費

■販売費及び一般管理費の詳細

単位:百万円、%

【親単体】主な項目について

()前年比

No.		令和元年(2019)12月期		令和2年(2020)12月期		前年 増減額	前年比
		実績	売上高構成比	実績	売上高構成比		
1	給与及び賞与	12,434	5.6	12,107	5.7	△326	△ 2.6
2	減価償却費	4,876	2.2	6,565	3.1	+1,689	+34.6
3	運賃及び荷造費	6,162	2.8	6,292	2.9	+129	+2.1
4	支払手数料	1,811	0.8	2,378	1.1	+567	+31.3
5	福利厚生費	2,324	1.1	2,140	1.0	△184	△ 7.9
6	租税公課	1,153	0.5	1,349	0.6	+195	+17.0
7	広告宣伝費	655	0.3	744	0.3	+88	+13.6
8	消耗品費	582	0.3	564	0.3	△17	△ 3.1
9	借地借家料	651	0.3	553	0.3	△98	△ 15.1
10	旅費及び交通費	593	0.3	485	0.2	△107	△ 18.1
11	役員報酬	427	0.2	418	0.2	△9	△ 2.3
12	通信費	365	0.2	391	0.2	+26	+7.2
13	水道光熱費	375	0.2	347	0.2	△28	△ 7.5
14	車両費	234	0.1	237	0.1	+2	+0.9
15	交際費	102	0.0	20	0.0	△82	△ 80.2
16	賞与引当金繰入額	21	0.0	15	0.0	△5	△ 25.0
17	販売促進費	122	0.1	△8	△ 0.0	△130	△ 106.6
18	その他	341	0.2	288	0.1	△53	△ 15.6
計		33,237	15.1	34,891	16.4	+1,654	+5.0

- ・社員1,628名・パートタイマー1,087名
- ・社員残業代(△443百万円)
- ・パート給与及び賞与の増加(+97百万円)

- ・基幹システム「パラダイス」リニューアル(+626百万円)
- ・物流センターの建屋・物流機器
プラネット東北(+410百万円)
プラネット南関東(+263百万円)

- ・出荷量増加等による影響(+246百万円)
- ・備車(契約配達便)減便(△191百万円)
備車台数 160台(前期末比△15台)
【参考】自社社員配達便 110台(前期末比+12台)

- ・基幹システムリニューアルなどに伴うシステム関連保守点検費用(+209百万円)
- ・新システム稼働後の初期対応費用(+110百万円)

- 見積不動産取得税(+173百万円)
- ・「プラネット南関東」建替え(+115百万円)
- ・「プラネット東北」増築(+58百万円)

- ・カタログ「2020年度版トラスコ オレンジブック」のサイズ変更[B5⇒A4]へのレイアウト変更作業費用(△70百万円)
- ・カタログ「2020年度版トラスコ オレンジブック」編集データ製作費用(△73百万円)

D-③ 【連結】財務諸表

貸借対照表

令和2年(2020)12月31日現在
単位:百万円、()前期末比

単位:百万円

資産	負債・純資産
	流動負債 38,209 (△3167)
流動資産 102,582 (+11,475)	内、短期借入金 17,000 (-)
内、在庫 41,542 (△2,110)	固定負債 37,684 (+10,444)
現金及び預金 32,383 (+14,010)	内、長期借入金 35,000 (+10,000)
固定資産 106,271 (+1,283)	純資産 132,960 (+5,481)
内、土地 32,567 (+823)	自己資本比率 63.7%
建物 47,441 (+10,387)	(△1.3 pt)
総資産 208,854	

	令和元年(2019年)	令和2年(2020年)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,998	15,068	+4,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,707	△8,743	+10,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,558	7,722	△6,835
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△33	△65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,881	14,014	+8,132
現金及び現金同等物の期首残高	12,448	18,330	+5,881
現金及び現金同等物の期末残高	18,330	32,344	+14,014

貸借対照表について

①在庫金額

取扱商品アイテム数は増加しておりますが、1品目当たりの在庫数においては、商品の地域特性や販売頻度を考慮し、全国の物流センターにおいて在庫の適正数量への見直しを行っています。

②現金及び預金

2020年4月30日に不測の事態に備え100億円の借入を行ったため、現金及び預金が増加しています。

③固定資産

当社では、「持つ経営」をポリシーとしているため、事業の根幹を支える物流センター、本社ビル、支店、データセンター、自社配達便のトラック、営業車などを自社所有しています。2020年はプラネット南関東、プラネット東北の建物分が増加しました。

D-④ 【連結】設備投資等の状況

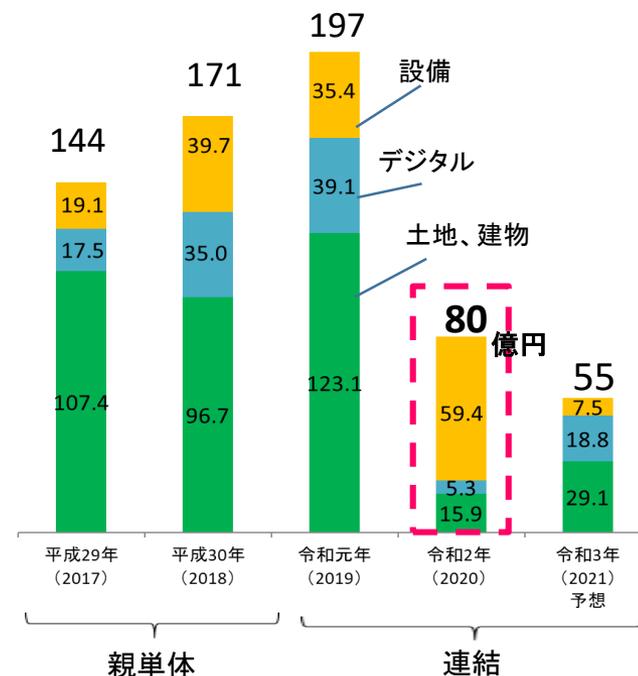
■主な設備投資の実績と予定

単位:億円

■設備投資額の推移

単位:億円

主な設備投資 内訳		総投資 (予定)額	R2(2020)	R3(2021)
			12月期 実績	12月期 予定
建物	ブラネット南関東 建替	87.4	4.0	-
	ブラネット東北 増築	40.8	5.0	-
	ブラネット大阪 倉庫新築工事 建設費	7.7	-	2.5
	ブラネット東関東増築工事 建設費	8.0	-	2.6
	その他		1.5	6.1
	建物合計	143.9	10.5	11.2
設備	ブラネット東北 パレット自動倉庫・SAS・GAS・オートストア・I-Pack・JFB・パトラー 等	31.0	28.2	-
	ブラネット南関東 パレット自動倉庫・DAS・オートストア・SAS・電動パレットラック 等	21.0	24.5	-
	ブラネット北関東 太陽光工事	1.2	1.2	-
	豊橋ストックセンター 運用設備	0.8	0.6	0.1
	P埼玉物流機能増強(I-Pack,オートストアピッキングロボット導入など)	9.2	-	5.8
	高松ストックセンター パレットラック増設	0.3	-	0.3
	その他		4.9	1.3
	設備合計	63.5	59.4	7.5
システム	パラダイス(受発注システム) リプレイス	33.7	3.0	-
	SORA、Self、Zaicon2 リプレイス	9.4	2.0	-
	ネットワーク・セキュリティ見直し	3.0	-	3.0
	Sterraリプレイス(新商品情報管理システム)	3.0	-	3.0
	得意先サプライチェーン統一プロジェクト	3.0	-	3.0
	既存システムのクラウド化	1.9	-	1.9
	その他		0.3	7.9
	システム合計	54.0	5.3	18.8
土地	ブラネット大阪 近隣土地	5.4	5.4	-
	ブラネット愛知 新築計画	未定	-	14.1
	HC東日本 移転計画	未定	-	3.8
土地合計	5.4	5.4	17.9	
合計			80.6	55.4
年間設備投資金額			80.6	55.4



設備投資額に関して

- ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれている為、投資金額は変動する場合がございます。
- ・第59期はキャッシュアウトベースの金額にて記載しております。

令和3年(2021)12月期の減価償却費は70億円(前年比+5億円)を予定しております。

D-⑤ 令和2年(2020)度 主な設備投資・トピックス

プラネット東北 増築

2020年5月7日稼働



概要

- 住所: 宮城県仙台市
- 敷地面積: 4,550坪
- 延床面積: 8,591坪(増築後) 増築棟 6階建
- 投資総額: 約72億円(建物・設備)
- 在庫アイテム数: 13.5万アイテム
- 目標在庫アイテム数: 40万アイテム
- 導入設備: バケツ自動倉庫 / オートストア / バトラー / SAS / GAS / I-Pack

今回の増築ではオートストア、Butler®(バトラー)を導入し、会議室からオートストアを見下ろせる構造にしました。また、災害時にも必要な商品の供給を止めないため、新たに災害備蓄倉庫を設置しました。他にも108台収容可能な立体駐車場を設置しました。

プラネット南関東 建替え

2020年8月17日稼働



概要

- 住所: 神奈川県伊勢原市
- 敷地面積: 3,662坪
- 延床面積: 7,884坪
- 構造: 地下1階(駐車場)、地上4階建、免震構造
- 投資総額: 約114億円(建物・設備)
- 在庫アイテム数: 11.2万アイテム
- 目標在庫アイテム数: 40万アイテム
- 導入設備: バケツ自動倉庫 / オートストア / シャトルラック / DAS / 電動パレトトラック

当社初のダイフク製シャトルラックや当社最大規模の自動倉庫などの物流機器を導入し出荷の効率化や高密度収納を実現します。また、22mのはね出しがあるトラックバースにより雨天時の作業効率を上げるとともに、地下駐車場をトラックも入れる高さにすることで、夜間でも近隣のご迷惑にならずに入荷可能となりました。また物流センター内に託児所を設置し、働きやすい環境を整えています。

D-⑥ 令和2年(2020)度 主な設備投資・トピックス(2)

2020年1月6日 基幹システム「パラダイス3」稼働

受発注業務や会計管理などを行う当社の基幹システム「パラダイス」をリニューアルしました。

コンセプトは「自動でできるものは、すべて自動化！」。AIを活用したAI見積「即答名人」(見積自動化システム)や売れ筋商品の自動在庫化が可能となります。当社業務の生産性向上、スピード・精度アップを実現するとともに、仕入先様、得意先様、エンドユーザー様の利便性向上を目的としています。

投資総額 : 約43億円
見積自動化率: 8.1%(2020年12月末時点)

8月25日 「DX銘柄2020」に選定、 「DXグランプリ2020」を受賞しました。

経済産業省と東京証券取引所より「DX銘柄2020」「DXグランプリ2020」に当社を選定いただきました。DX銘柄、DXグランプリとは、中長期的な企業価値の向上や競争力強化に結び付く戦略的IT投資の促進に向けた取り組みの一環として、毎年経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する銘柄で、2020年度は35社が選定されました。

「DXグランプリ」は、デジタル時代を先導する企業として、銘柄選定企業の中から選定されます。2020年度は当社と(株)小松製作所様の2社が受賞しました。



DX銘柄2020
Digital Transformation

▲DX銘柄2020 ロゴマーク



DXグランプリ2020
Digital Transformation

DXグランプリ2020 ロゴマーク

当社のDXに関する取組み



▲AI見積「即答名人」



▲MROストッカー

デジタル(頭脳) × メカ(足腰)

をフル活用し、製造現場の利便性向上を通じて日本のモノづくりに貢献します。

AI見積「即答名人」

MROストッカー
〔置き工具〕

トラスコAI
オレンジレスキュー

Auto Store(オートストア)
高密度ロボット収納システム

Butler®(バトラー)
自走型搬送ロボット

I-Pack(アイパック)
高速自動梱包出荷ライン



▲AutoStore(オートストア)
高密度ロボット収納システム



▲I-Pack(アイパック)
高速自動梱包出荷ライン

E-① 経営計画

◆予算のたて方について

予算は「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。

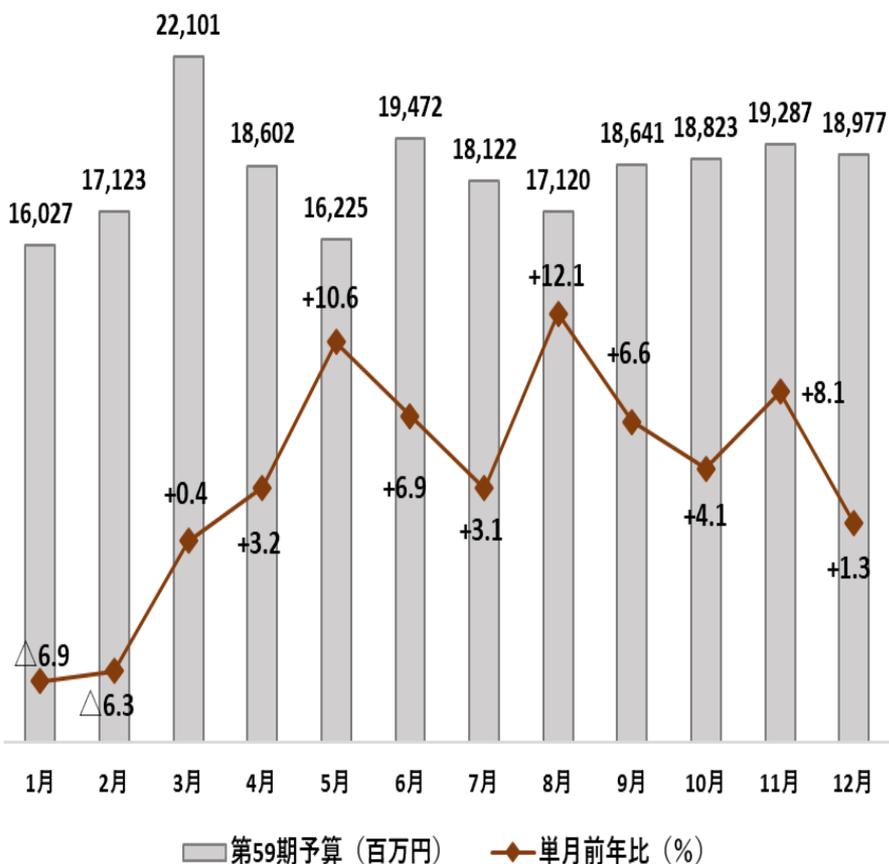
	第58期(2020年12月期)						第59期(2021年12月期)					
	(連結)			(単体)			(連結)			(単体)		
	実績 (百万円)	前期差額 (百万円)	前期比 (%)	実績 (百万円)	前期差額 (百万円)	前期比 (%)	計画値 (百万円)	前期差額 (百万円)	前期比 (%)	計画値 (百万円)	前期差額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	213,404	▲7,270	96.7	213,205	▲7,151	96.8	220,520	+7,115	103.3	220,000	+6,794	103.2
ファクトリールート	156,765	▲13,276	92.2	156,765	▲13,259	92.2	158,678	+1,912	101.2	158,678	+1,912	101.2
eビジネスルート	38,417	+3,925	111.4	38,417	+3,925	111.4	43,097	+4,680	112.2	43,097	+4,680	112.2
ホームセンタールート	16,992	+2,289	115.6	16,992	+2,289	115.6	17,087	+94	100.6	17,087	+94	100.6
海外ルート	1,228	▲208	85.5	1,030	▲107	90.6	1,657	+428	134.8	1,137	+106	110.4
1日当たり売上高	-	-	-	892	▲45	95.1	-	-	-	916	+24	102.8
プライベートブランド商品売上高	-	-	-	41,302	▲2,588	94.1	-	-	-	42,892	+1,590	103.9
実働稼働日数	-	-	-	239日	+4日	-	-	-	-	240日	+1日	-
売上総利益	45,909	▲1,124	97.6	45,733	▲1,123	97.6	47,720	+1,810	103.9	47,460	+1,726	103.8
売上総利益率(%)	21.5%	+0.2pt	-	21.5%	+0.2pt	-	21.6%	+0.1pt	-	21.6%	+0.1pt	-
販売費及び一般管理費	34,891	+1,654	105.0	34,630	+1,695	105.1	35,250	+358	101.0	34,960	+329	101.0
営業利益	11,017	▲2,779	79.9	11,102	▲2,818	79.8	12,470	+1,452	113.2	12,500	+1,397	112.6
経常利益	11,559	▲2,638	81.4	11,635	▲2,667	81.3	12,880	+1,320	111.4	12,900	+1,264	110.9
当期純利益	8,007	▲1,606	83.3	8,085	▲1,629	83.2	8,870	+862	110.8	8,900	+814	110.1
1株当たり当期純利益	121円 43銭	▲24円 35銭	-	122円 62銭	▲24円 70銭	-	134円 51銭	+13円 08銭	-	134円 96銭	+12円 34銭	-
1株当たり配当金	30円 50銭	▲6円 00銭	-	-	-	-	34円 00銭	+3円 50銭	-	-	-	-
商品在庫金額	41,542	▲2,110	95.2	40,611	▲2,170	94.9	45,810	+4,267	110.3	45,000	+4,388	110.8
減価償却費	6,565	+1,689	134.6	6,495	+1,693	135.3	7,035	469	107.2	6,967	471	107.3

この経営計画は本資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

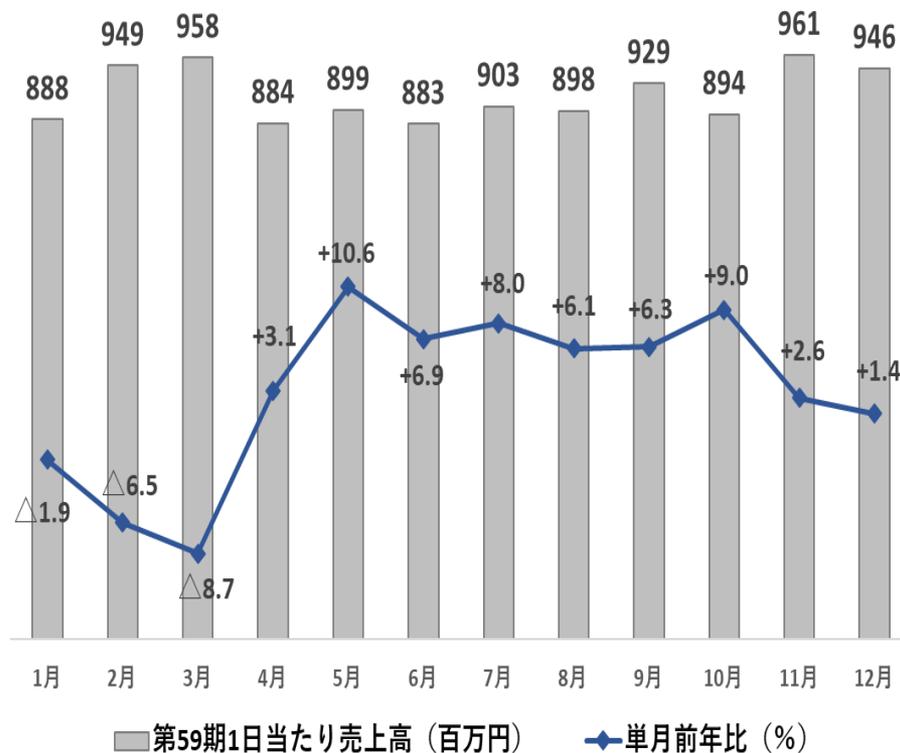
E-② 【連結】第59期 月次売上高予算

以前から続く米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の収束時期は未定であるものの、市況感は徐々に回復傾向にあります。昨年1～3月に新型コロナウイルス感染症の特需があったため、この期間は前年マイナスまたは同程度を予想しています。緊急事態宣言が発令され、売上高が落ち込んだ4月以降、徐々に前年比プラスに転じる計画をしています。

【連結】第59期 月別売上高予算



【親単体】第59期 月別一日当たり売上高予算



E-③ 【連結】第59期 販売費及び一般管理費

352億50百万円 (前年比+3億58百万円/+1.0%) 主な内訳は下記 ()前年比

増加要因

(1) 減価償却費 70億35百万円(+7.2%/+4億69百万円)

①物流センター「プラネット南関東」建替え、物流機器等 ②物流センター「プラネット東北」増築、物流機器等

(2) 運賃荷造費 64億04百万円(+1.8%/+1億12百万円)

①売上高増加による出荷個数増加予想

②通販企業様とのお取引増加により、ユーザー直送の出荷個数が増加予想

※ユーザー直送に係る運賃は、お客様にご負担いただいています。

【参考】従業員給与及び賞与 121億15百万円(+0.1%/+8百万円)

①2021年度新入社員入社:43名(前年比△36名)

②1~3月は残業代減少見込みであるが、売上高増加により4~12月の残業代が増加予想

減少要因

(1) 借地借家料 3億53百万円(△36.1%/△1億99百万円)

①プラネット南関東の建替え工事期間中に賃借していた倉庫の解約

(2) 広告宣伝費 5億66百万円(△23.9%/△1億77百万円)

①株主優待制度の廃止

E-④ 第59期 主な設備投資・トピックス

I-Packビジネスの拡大

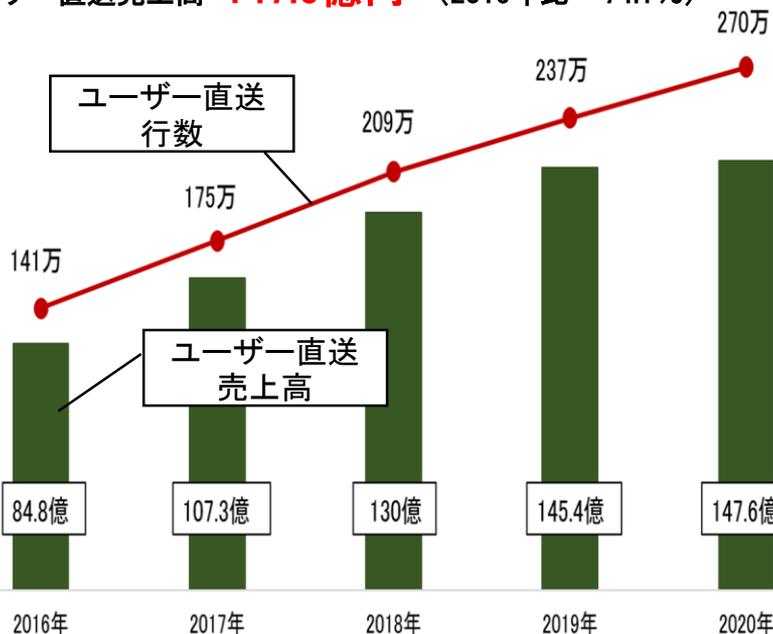
ネット通販企業様による商品調達がモノづくり現場で浸透するにつれ、ユーザー様直送の依頼が急激に増加しています。

ネット通販企業様各社とのお取り組みの伸長や業界全体の人手不足、ユーザー様からの納期短縮要請などを鑑みると、今後もユーザー直送件数が増え続けるのは確実であり、直送体制の強化が必須と考えています。

■出庫能力:720cs/h(1ライン)、約24人分
 導入センター:プラネット東北、埼玉、東海、大阪
 (プラネット埼玉:2ライン、その他各1ライン 計5ライン)

■全国の物流センターからのユーザー直送

ユーザー直送行数 **270万行** (2016年比 +91.5%)
 ユーザー直送売上高 **147.6億円** (2016年比 +74.1%)



今後の具体的な取り組み

■プラネット埼玉 I-Pack出荷能力の最大値の引き上げ

今期投資予定額:約5.8億円



設備名	設備数		能力	
	現在	今後	現在	今後
① I-Packライン	2ライン	3ライン(+1)	1日当たり 8,000箱投入	1日当たり 15,200箱投入
② I-Pack用GAS	2台	6台(+4)		
③ I-Pack作業場	10か所	19か所(+9)		
④ 方面仕分けロボット	-	1基(+1)	-	1時間当たり 300仕分け

各地での土地取得

今後の売上高拡大を見据え、各地で土地の取得を行います。投資計画の見直しを行いつつ、モノづくり現場で必要とされる少量多品種の商品ニーズに的確にお応えするために必要な設備投資を継続します。

1. プラネット愛知(仮称) 土地取得

■所在地 :愛知県北名古屋市
 (北名古屋沖村西部土地区画整理事業地)
 ■敷地面積:12,595坪
 ■今期投資金額:約14.1億円 ■総投資額:未定(計画中)

2. HC東日本物流センター 土地取得

■所在地 :新潟県三条市福島新田 ■敷地面積:7,986坪
 ■今期投資金額:約3.8億円 ■総投資額:未定(計画中)

参考資料①－株式情報

■株主情報

単位：名

	平成30年 (2018) 12月末	令和元年 (2019) 12月末	令和2年 (2020) 12月末
株主合計	29,997	40,106	16,336
単元株主	29,408	39,494	15,514
単元未満株主	588	611	821
自己名義株式	1	1	1
金融機関・証券会社	63	61	65
国内法人	657	690	553
外国法人等	228	252	201
個人その他	29,048	39,102	15,516
自己名義株式	1	1	1

■株主優待制度の廃止について

(令和2年8月21日発表)

当社では、株主様への感謝と、より多くの方々に当社株式を保有いただくことを目的に株主優待制度を平成6年度に導入し、以来、株主様数は順調に増加し、第58期末には約5万名になることが予想されました。

その一方で株主様優待商品の費用が第57期は約1億8千万円、第58期は予想で2億3千万円と年々増加しました。

当社ではモノづくり現場でのニーズにお応えするため、今後も物流設備や情報システム(デジタル)への投資が必要であり株主様優待制度を見直し、さらなる成長のための投資につなげることといたしました。

尚、配当性向は25%を維持します。

■ROE推移

単位：%

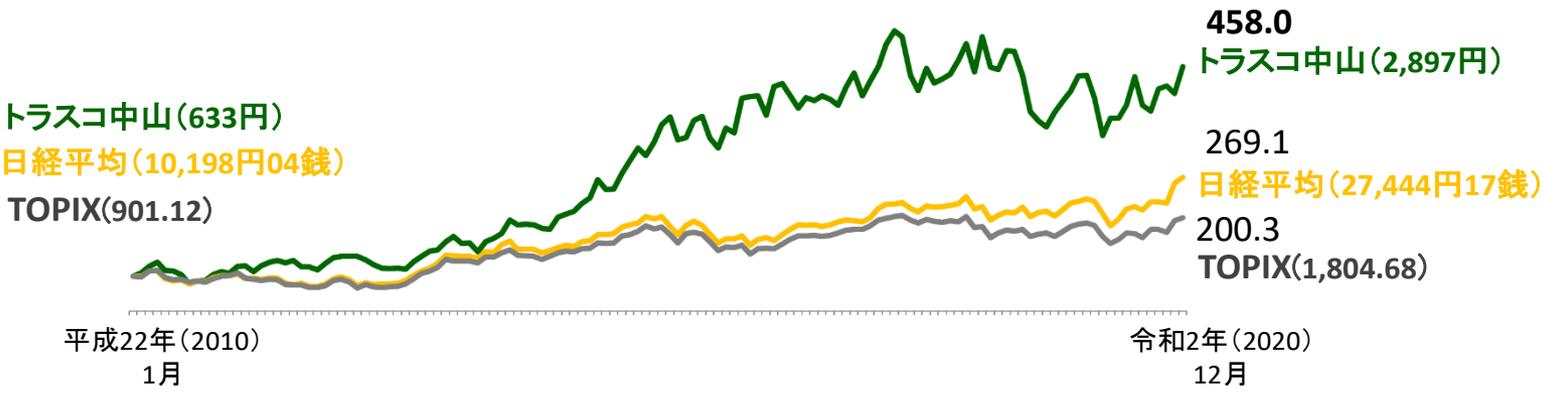
	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)
ROE	9.8	9.3	8.3	7.5	6.1

＜ROEに対する考え方＞

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

■株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



2021年2月8日(月)

当社株価 終値
2,871円

日経平均株価 終値
29,388円50銭

TOPIX 終値
1923.95

参考資料②－業界での指数比較

■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

機械工具業界の商社には下記のような企業がありますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。当社は工作機械などの大型機械の取扱いは無く、消耗品の取扱いが中心です。

単位:百万円、%、敬称略

卸売

	決算月	令和2年(2020年) -実績・予想-		時価総額 (億円)
		売上高	前年比	
(株)山善	3月	430,000	△ 8.9	985
ユアサ商事(株)	3月	450,000	△ 8.4	733
(株)日伝	3月	100,000	△ 11.0	705
フルサト工業(株)	3月	-	-	193
(株)NaITO	2月	37,600	△ 19.1	90
杉本商事(株)	3月	39,600	△ 9.8	245
トラスコ中山(株)	12月	213,404	△ 3.3	1,893
				4,844

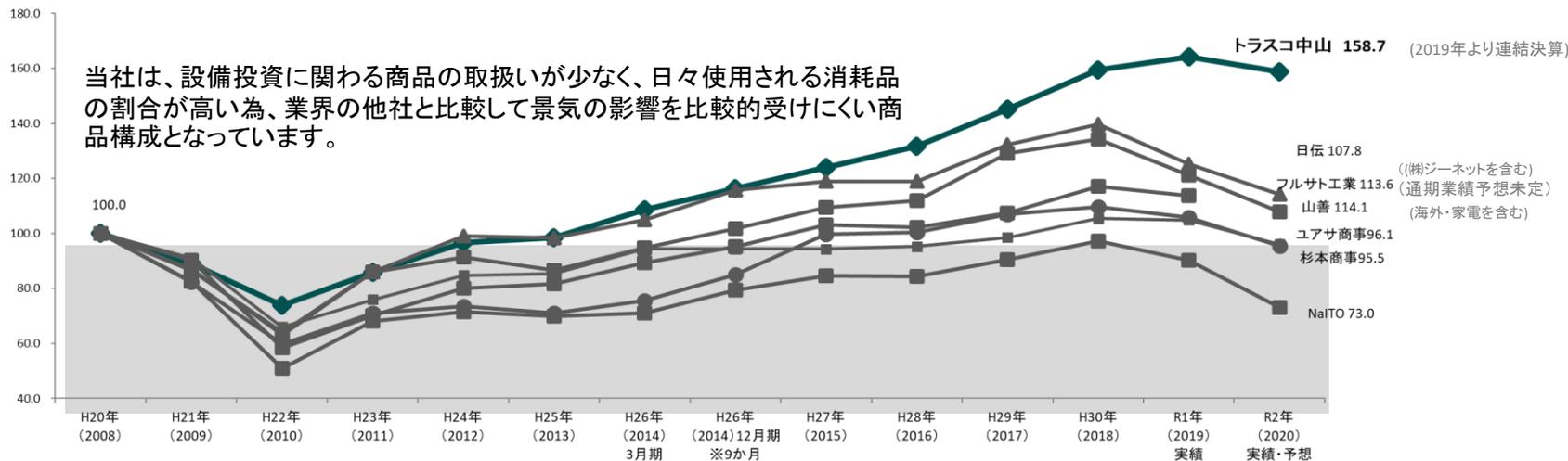
単位:百万円、%、敬称略

小売

	決算月	令和2年(2020) -実績・予想-		時価総額 (億円)
		売上高	前年比	
(株)ミスミグループ	3月	300,000	△ 4.3	10,226
(株)MonotaRO	12月	157,337	+ 19.7	14,386
				24,612

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。
※各数値は令和3年(2021)2月8日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。

■同業界の商社との売上高指数比較 (%)



※指数基準:平成20年(2008)を100とする。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。
※令和2年(2020)5月7日現在公開のデータをもとに経営企画・広報IR課にて算出した数値です。
※平成26年12月期のトラスコ中山指数は、決算期変更により9か月の変則決算であったため、12か月に換算した売上高1,563億円をもとに計算した参考値です。

参考資料③－【連結】令和2年(2020)12月期 四半期毎の実績

■令和2年(2020)12月期【四半期ごと】

単位:百万円、%

		第1四半期 (+1日)			第2四半期 (+2日)			第3四半期 (+1日)			第4四半期 (±0日)		
		予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比
売上高	予算	56,960	100.0	+2.1	57,114	100.0	+6.2	57,421 ~	100.0	+4.7 ~	53,211	100.0	△5.4
	実績	57,493	100.0	+3.1	50,919	100.0	△5.3	44,771	100.0	△18.4	54,650	100.0	△2.8
売上総利益	予算	12,258	21.5	+2.2	12,485	21.9	+6.3	11,748 ~	20.5	+4.1 ~	11,678	21.9	△2.8
	実績	12,556	21.8	+4.7	11,338	22.3	△3.4	9,163	20.5	△18.8	11,417	20.9	△4.9
販売費及び一般管理費	予算	9,209	16.2	+9.9	8,899	15.6	+6.0	9,054 ~	15.8	+9.3 ~	8,768	16.5	+7.3
	実績	9,218	16.0	+10.0	8,514	16.7	+1.4	8,713	19.5	+5.1	8,537	15.6	+4.5
営業利益	予算	3,048	5.4	△15.7	3,587	6.3	+7.2	2,693 ~	4.7	△10.2 ~	2,909	5.5	△24.2
	実績	3,337	5.8	△7.7	2,824	5.5	△15.6	449	1.0	△85.0	2,879	5.3	△24.9
経常利益	予算	3,110	5.5	△15.3	3,648	6.4	+6.4	2,748 ~	4.8	△10.7 ~	2,952	5.5	△26.5
	実績	3,384	5.9	△7.8	3,015	5.9	△12.1	504	1.1	△83.6	3,100	5.7	△22.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	予算	2,117	3.7	△15.5	2,478	4.3	+7.7	1,895 ~	3.3	△8.4 ~	2,135	4.0	△22.0
	実績	2,321	4.0	△7.4	2,012	4.0	△12.6	347	0.8	△83.2	2,293	4.2	△16.2

※予算に関しては第1四半期、第2四半期は期初予算、第3四半期は令和2年8月3日発表の修正予算、第4四半期は10月29日発表の修正予算にて記載しています。

参考資料④－【連結】令和2年(2020)12月期 四半期毎の実績

令和2年(2020)12月期【累計】

単位:百万円、%

		第1四半期 (+1日)			第2四半期 (+3日)			第3四半期 (+4日)			通 期 (+4日)		
		予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	予算	56,960	100.0	+2.1	114,074	100.0	+4.1	165,835 ~	100.0 ~	+0.9 ~	211,965	100.0	△3.9
	実績	57,493	100.0	+3.1	108,413	100.0	△1.1	153,185 ~	100.0 ~	△6.8 ~	213,404	100.0	△3.3
売上総利益	予算	12,258	21.5	+2.2	24,743	21.7	+4.2	35,643 ~	21.5 ~	+1.8 ~	46,170	21.8	△1.8
	実績	12,556	21.8	+4.7	23,894	22.0	+0.7	33,058 ~	21.6 ~	△5.6 ~	45,909	21.5	△2.4
販売費及び一般管理費	予算	9,209	16.2	+9.9	18,108	15.9	+7.9	26,788 ~	16.2 ~	+6.9 ~	35,122	16.6	+5.7
	実績	9,218	16.0	+10.0	17,733	16.4	+5.7	26,447 ~	17.3 ~	+5.5 ~	34,891	16.4	+5.0
営業利益	予算	3,048	5.4	△15.7	6,635	5.8	△4.7	8,855 ~	5.3 ~	△11.1 ~	11,048	5.2	△19.9
	実績	3,337	5.8	△7.7	6,161	5.7	△11.5	6,611 ~	4.3 ~	△33.6 ~	11,017	5.2	△20.1
経常利益	予算	3,110	5.5	△15.3	6,758	5.9	△4.8	9,149 ~	5.5 ~	△10.1 ~	11,412	5.4	△19.6
	実績	3,384	5.9	△7.8	6,400	5.9	△9.9	6,905 ~	4.5 ~	△32.2 ~	11,559	5.4	△18.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	予算	2,117	3.7	△15.5	4,595	4.0	△4.4	6,229 ~	3.8 ~	△9.4 ~	7,850	3.7	△18.3
	実績	2,321	4.0	△7.4	4,333	4.0	△9.9	4,681 ~	3.1 ~	△31.9 ~	8,007	3.8	△16.7

※予算に関しては第1四半期、第2四半期は期初予算、第3四半期は令和2年8月3日発表の修正予算、第4四半期は10月29日発表の修正予算にて記載しています。

参考資料⑤－【連結】令和3年(2021)12月期 四半期毎の計画

【令和3年(2021) 12月期【四半期ごと】】

単位:百万円、%

	第1四半期 (+1日)			第2四半期 (±0日)			第3四半期 (±0日)			第4四半期 (±0日)		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
売上高	55,251	100.0	△3.9	54,299	100.0	+ 6.6	53,883	100.0	+ 7.0	57,087	100.0	+ 4.5
売上総利益	12,068	21.8	△3.9	12,112	22.3	+ 6.8	11,430	21.2	+ 7.9	12,110	21.2	+ 6.1
販売費及び一般管理費	8,795	15.9	△4.6	8,755	16.1	+ 2.8	8,664	16.1	+ 0.5	9,036	15.8	+ 5.8
営業利益	3,273	5.9	△1.9	3,357	6.2	+ 18.9	2,766	5.1	+ 39.9	3,074	5.4	+ 6.7
経常利益	3,411	6.2	+0.8	3,449	6.4	+ 14.4	2,850	5.3	+ 38.4	3,170	5.6	+ 2.2
親会社株主に帰属する当期純利益	2,356	4.3	+1.5	2,364	4.4	+ 17.5	1,965	3.6	+ 42.3	2,185	3.8	△ 4.7

【令和3年(2021) 12月期【累計】】

単位:百万円、%

	第1四半期 (+1日)			第2四半期 (+1日)			第3四半期 (+1日)			通期 (+1日)		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年比
売上高	55,251	100.0	△3.9	109,550	100.0	+1.0	163,433	100.0	+2.9	220,520	100.0	+3.3
売上総利益	12,068	21.8	△3.9	24,180	22.1	+1.2	35,610	21.8	+3.2	47,720	21.6	+3.9
販売費及び一般管理費	8,795	15.9	△4.6	17,550	16.0	△1.0	26,214	16.0	△0.5	35,250	16.0	+1.0
営業利益	3,273	5.9	△1.9	6,630	6.1	+7.6	9,396	5.7	+15.5	12,470	5.7	+13.2
経常利益	3,411	6.2	+0.8	6,860	6.3	+7.2	9,710	5.9	+14.8	12,880	5.8	+11.4
親会社株主に帰属する当期純利益	2,356	4.3	+1.5	4,720	4.3	+8.9	6,685	4.1	+17.0	8,870	4.0	+10.8

参考資料⑥－会社データ

■社員数【連結】 令和2年(2020)末現在

単位：名

	女	男	合計	前年同月比
役員	1	11	12	+0
執行役員	0	2	2	+0
キャリア	178	434	612	+9
エリア	273	300	573	△6
サポート	25	3	28	△1
スペシャリスト	15	14	29	△3
ロジス	76	271	347	+10
契約社員	1	36	37	+7
現地法人	20	24	44	+2
健康保険組合出向者	1	1	2	+0
中山財団出向者	0	0	0	+0
社員計(役員含む)	589	1,085	1,674	+18
パート	829	271	1,100	△28
従業員計	1,419	1,367	2,786	△10

女性社員比率35.2%/女性セールス77人/

女性キャリア比率29.1%(男性40.0%) ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

■平均年齢・年収

	平均年齢(歳)			平均年収(万円)			
	女	男	全体	キャリア	エリア	ロジス	全体
令和2年(2020)	32.1	41.9	38.4	721	601	461	619
令和元年(2019)	31.3	42	38.2	758	642	492	655
平成30年(2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	520	701
平成29年(2017)	30.7	42.7	38.6	805	696	541	715
平成28年(2016)	30.6	43.5	39.3	757	651	519	674

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
 ※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。令和元年(2019)より業績連動型賞与廃止のため減額。

※令和元年(2019)12月期より連結決算開始のため、令和元年(2019)12月期より平均年齢は連結、平均年収は全て単体のデータ。

■入社者数および退職者数 ※パートタイマー除く

	平成28年(2016)【親単体】		平成29年(2017)【親単体】		平成30年(2018)【親単体】		令和元年(2019)【連結】		令和2年(2020)【連結】	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数(名)	512	959	510	1004	557	1,051	585	1,071	589	1,085
	1,471		1,514		1,608		1,656		1,674	
入社者(名)	70	33	59	67	63	72	52	57	41	46
	103		126		135		109		87	
退職者(名)	20	18	18	18	20	26	42	44	37	33
	38		36		46		86		70	
離職率(%)	3.8	1.8	3.4	1.8	3.5	2.4	6.7	3.9	5.9	3.0
	2.5		2.3		2.8		4.9		4.0	

■拠点数【連結】 令和2年(2020)末現在

本社	2か所
支店	67か所
物流センター	17か所
海外拠点	3か所
ストックセンター	9か所
合計	98か所

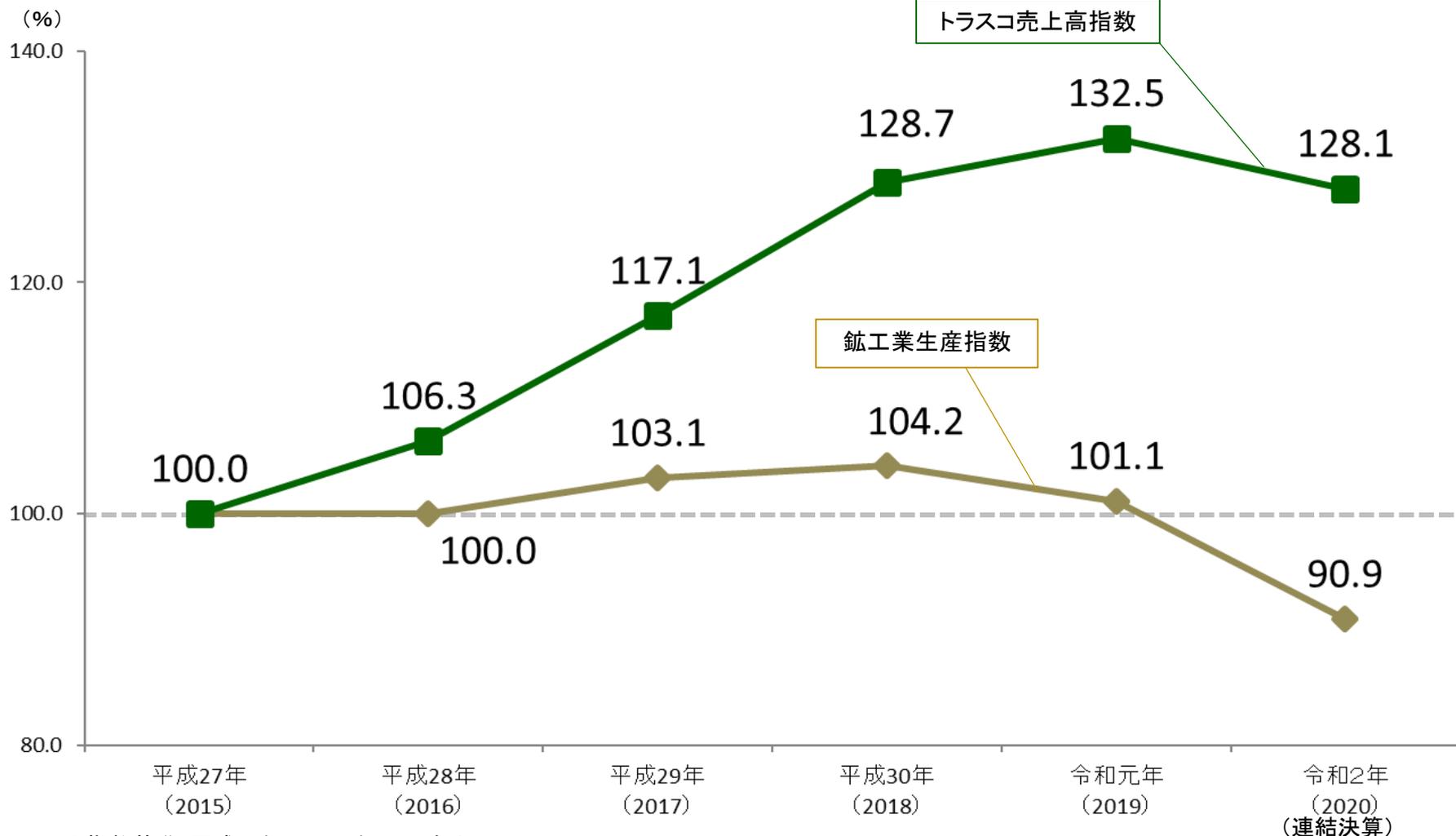
■倒産による回収不能金額

	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和2年(2020)
回収不能金額(万円)	0	35	0	4	0	0

■在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和2年(2020)
廃棄金額(百万円)	32	41	39	42	50
在庫金額(億円)	290	318	370	427	406
廃棄率(%)	0.11	0.13	0.11	0.10	0.12

■当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする

※鉱工業生産指数は令和3年(2021)1月29日に経済産業省より公表された数値

参考資料⑧—第58期 第4四半期トピックス

10月1日 オンライン内定式 開催

新型コロナウイルス感染症予防のため、令和3年(2021)度入社の内定式を初めてオンラインで開催しました。内定者33名が自宅から参加し、「オンラインでもリアルを感じてほしい」という思いから、工夫を凝らし行いました。また、毎年開催している内定者向け営業同行もオンラインでの開催となりました。



▲オンライン内定式の様子



▲スクリーンを通して全員で記念撮影 (写真左:社長 中山 右:本部長 数見)

11月4日 TRUSCO ホワイトマスク 自社製造開始

有事の際もお客様への供給を止めず、また社員へのマスク供給を行うことを目的に、マスクの自社製造を開始しました。国産材料を100%使用し、国内生産することで安全な製品の安定的な供給が可能となります。当商品は2021年より発売開始いたしました。



▲着用画像



▲品番:DPM-WM 商品パッケージ

11月25日 2020年度IT賞「最優秀賞」受賞

公益社団法人企業情報化協会が主催するIT賞で、最優秀賞(トランスフォーメーション領域)を受賞しました。“ITを高度に活用したビジネス革新”に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業に授与されるもので、令和2年(2020)は計37件のべ44社が受賞し、うち当社を含む3社が最優秀賞を受賞しました。2021年2月4日には受賞式が行われました。



<受賞理由>

- ・ ITシステムの整備による業界全体の効率性を向上することで、高い成果を上げた点
- ・ AIを活用した見積の自動化など、様々な仕組みの構築により、サプライチェーン全体の業務効率化ならびに業務革新性を向上している点

など

12月16日 NGOペシャワール会への寄付

アフガニスタンで活動するペシャワール会を支援するため、寄付を行いました。

ペシャワール会はパキスタン・アフガニスタンの発展のために尽力されていた故・中村哲医師を支援するため昭和58年(1983)に結成されたNGO(非政府組織)です。干ばつが進行するアフガニスタンで「百の診療所より一本の用水路」という思いから、平成12年(2000)より井戸掘削、平成15年(2003)より用水路建設に着手。現在はアフガニスタンでの医療活動や灌漑水利事業等の総合的農村復興事業を行っています。